

令和7年度

事業年報

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

赤十字基本原則

(1965年ウィーンで開催された第20回国際会議議決)

人道 国際赤十字・赤新月運動は、戦場において差別なく負傷者に救いの手を差し伸べたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的及び国内的に努力する。生命と健康を守り、人間を尊重することを目的とし、すべての人の相互理解、友情、協力及び恒久の平和を促進する。

公平 国際赤十字・赤新月運動は、国籍、人種、宗教、社会的地位または政治上の意見によるいかなる差別をもしない。ただ苦痛の度合いにしたがって個人を救うことに努め、その場合、最も急を要する苦痛をまっさきに取り扱う。

中立 すべての人からいつも信頼を受けるために、国際赤十字・赤新月運動は、戦闘行為の時にいずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも、政治的、人種的、宗教的または思想的性格の論争には参加しない。

独立 国際赤十字・赤新月運動は独立した存在である。各国赤十字社・赤新月社は、その国の政府の人道的事業の補助機関であり、その国の法律にしたがうが、つねに国際赤十字・赤新月運動の諸原則にしたがって行動できるようその自主性を保たなければならない。

奉仕 国際赤十字・赤新月運動は、利益を求めない自発的な救護を行う運動体である。

単一 いかなる国にもただ一つの赤十字社・赤新月社しかありえない。赤十字社・赤新月社は、すべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行わなければならない。

世界性 国際赤十字・赤新月運動は世界に広がる運動体であり、その中においてすべての赤十字社・赤新月社は同等の地位を有するとともに、相互援助を行う同等の責任と義務を共有する。

ご あ い さ つ

赤十字事業の推進につきましては、日頃から県民の皆様並びに赤十字奉仕団や地区・分区をはじめとする関係の皆様から多大なご支援、ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

日本赤十字社は、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」ことを使命として、災害救護事業をはじめとして、医療事業、血液事業、社会福祉事業、ボランティア・青少年の育成など様々な活動を実施しています。

昨年も全国各地で地震や台風、大雨等による災害が発生しており、県内においても、6月下旬以降のトカラ列島近海を震源とする群発地震や8月の二度にわたる大雨災害により、各地で人的被害、住家被害等が発生し、多くの方々が被災されました。

鹿児島県支部では、鹿児島赤十字病院の看護師1名を十島村悪石島に派遣し、住民の健康観察など地元看護師の業務支援を行ったほか、大雨災害被災地の地区の方々と連携して、被害状況の確認や救援物資の配布を行うとともに、災害義援金の募集を行い、鹿児島県及び関係市町村を通じて被災者の方々にお届けいたしました。

近年、自然災害の激甚化・頻発化に加え、南海トラフ地震など大規模地震の発生が懸念される中で、鹿児島県支部では、災害発生時に、迅速かつ機動的に対応できるよう、災害救護体制の充実に努めるとともに、県民の皆様が、災害時に適切な行動を取れるよう、地域における自助・共助の力を高めるための防災セミナーの充実に努めて参りたいと考えております。

また、11月には、赤十字思想の普及及び赤十字事業の推進を目的として、日本赤十字社名誉副総裁三笠宮寛仁親王妃信子殿下のご臨席のもと、鹿児島市において「令和7年度九州八県赤十字大会」を開催し、九州各県から赤十字関係者約1,200名のご参会を賜り、盛会裡に滞りなく終えることができました。

病院事業につきましては、公的医療機関として地域医療の充実に貢献するため、災害時の医療救護や離島・へき地医療への取組はもとより、各診療科において専門的かつ高度な医療の提供に取り組み、医療サービスの質的向上・効率的提供や患者サービスの向上に努めました。

血液事業につきましては、採血・供給業務を担う地域血液センターとして、少子高齢社会に対応した献血者の安定的確保と、安全な輸血用血液製剤の安定供給に努めました。

社会福祉事業につきましては、全室個室のユニット型特別養護老人ホームとして質の高いサービスを提供するとともに、入居者の安全対策・環境整備や地域との連携に努めました。

鹿児島県支部としましては、今後とも、支部、病院、血液センター、社会福祉施設が有する資源と機能を最大限に活用しながら、赤十字の特色を生かした活動を積極的に展開し、多くの県民の皆様から赤十字活動へのご理解とご協力が得られるよう努めて参りますので、関係の皆様におかれましては、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年6月

日本赤十字社鹿児島県支部
支部長 塩田 康一

目 次

1	災害救護	1
(1)	常備救護班の設置	
(2)	災害救護活動	
(3)	災害救護訓練等の実施と参加	
(4)	救援物資の備蓄・配分	
(5)	救護資機材の整備	
(6)	赤十字救護連絡所の医薬品等補充	
(7)	救急用担架の配備	
(8)	洋上での遭難者に対する救援	
(9)	臨時救護	
(10)	赤十字防災セミナー等	
(11)	死亡弔慰金の支給	
(12)	義援金の取扱い状況	
2	看護師の養成	20
(1)	日本赤十字社鹿児島県支部	
(2)	鹿児島赤十字病院	
3	救急法等の講習	21
(1)	救急法	
(2)	水上安全法	
(3)	健康生活支援講習	
(4)	幼児安全法	
(5)	救急法等指導員の在籍状況	
4	赤十字奉仕団の活動	26
(1)	赤十字奉仕団組織図	
(2)	赤十字奉仕団及び奉仕団員数	
(3)	地域赤十字奉仕団結成状況	
(4)	総会及び研修会等開催状況	
(5)	地域赤十字奉仕団研修会開催状況	
(6)	地域高齢者生活支援事業	
(7)	赤十字奉仕団登録一覧表	
5	青少年赤十字の活動	31
(1)	校種別加盟状況	
(2)	加盟校の推移	
(3)	会議等の参加及び開催	
(4)	研修活動	
(5)	青少年赤十字活動推進事業	
(6)	高校協議会の活動	
(7)	青少年赤十字100文字作文コンクール	

(8) 機関紙の発行	
(9) その他の青少年赤十字活動	
(10) 校種別加盟校名簿	
6 国際活動	40
(1) 「NHK海外たすけあい」寄付金募集	
(2) 海外救援金の取扱い状況（鹿児島県支部受付分）	
7 広報活動	42
(1) 「赤十字レッドライトアッププロジェクト2025」	
(2) 各種イベント等の活用による広報	
(3) 見学誘致による広報	
(4) 刊行物による広報	
(5) 各報道機関等による広報	
8 赤十字大会	45
(1) 全国赤十字大会	
(2) 九州八県赤十字大会	
(3) 鹿児島県赤十字有功会総会	
9 会員増強運動	46
(1) 令和7年度会費募集状況及び過去5カ年間の推移	
(2) 令和7年度地区・分區別社資納入状況一覧表（対社資目標額比較）	
(3) 令和7年度地区・分區別社資納入状況一覧表（対前年度比較）	
(4) 令和7年度地区・分區別会員募集実績前年対比一覧表	
(5) 令和7年度赤十字会員増強運動功労表彰	
(6) 過去5カ年間の会員募集実績の推移	
(7) 令和7年度一般社資金額別内訳一覧表	
(8) 令和7年度法人社資金額別内訳一覧表	
(9) 日本赤十字社有功章等表彰受彰（章）者（社）名簿	
10 評議員会及び監査等	56
(1) 支部評議員会	
(2) 業務監査	
(3) 地区・分区関係各種会議等	
11 医療事業	58
(1) 一般医療	
(2) 医療救護活動	
(3) へき地医療	
(4) 保健衛生事業	
(5) 相談援助・地域連携	
12 血液事業	63
(1) 供給・採血実績	

- (2) 供給体制
- (3) 医薬情報活動
- (4) 鹿児島県合同輸血療法委員会への協力
- (5) 献血推進
- (6) 献血予約の推進と協力要請
- (7) 骨髄バンク事業
- (8) 献血功労者表彰

13 社会福祉事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69

- (1) 指定介護老人福祉施設事業
- (2) 短期入所生活介護事業
- (3) 入居者へ質の高いサービスの提供
- (4) 入居者の安全対策・環境整備
- (5) ボランティアの受入れと地域との連携
- (6) 実習生の受入れ
- (7) 地域貢献活動について
- (8) 広報活動について
- (9) その他
 (参考) 令和7年度における入居者の状況

14 決算状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76

- (1) 令和7年度一般会計歳入歳出決算書
- (2) 令和7年度医療施設特別会計歳入歳出決算書
- (3) 令和7年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算書

参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 79

- 本社及び支部組織図等
- 日本赤十字社鹿児島県支部主要役員名簿
- 日本赤十字社鹿児島県支部評議員名簿
- 日本赤十字社現勢
- 支部の現勢
- 支部の沿革

1 災 害 救 護

災害救護は、日本赤十字社が行う最も重要な事業の一つであり、常備救護班8班を編成し、各種救護訓練等の実施や参加、資材等の整備に努めた。

(1) 常備救護班の設置

単位：人

	医 師	看 護 師 長	看 護 師	主 事	計
1 個 班 の 編 成	1	1	2	2	6
常 備 要 員 数	8	8	16	16	48

(2) 災害救護活動

ア トカラ列島近海を震源とする地震災害

6月21日（土）以降トカラ列島近海で地震活動が活発化し、7月3日（木）には十島村悪石島で震度6弱を観測した。当支部では鹿児島県の災害対策本部に職員を派遣し、情報収集を行うとともに、鹿児島県の要請により、悪石島に鹿児島赤十字病院の看護師1名を派遣し、7月5日（土）から7月8日（火）まで診療所の業務支援や島民の安否確認などを行った。



関係者との情報交換



住民の健康観察

イ 8月7日からの大雨災害

8月7日（木）からの大雨により県内各地で浸水やがけ崩れなどの被害が発生した。これを受け、当支部では、鹿児島県の災害対策本部や被害が大きかった始良市及び霧島市に職員を派遣し、情報収集や関係機関との調整を行い、被災世帯に対し各地区を通じて救援物資を配付した。当支部の在庫で不足した物資については、福岡県支部から被災地へ直接搬送された。

地区	被 災 数		毛 布	緊急セット	安眠セット	タオルケット	ブルーシート
	世帯	人数					
曾於市	12	15	10	10	0	11	10
霧島市	135	269	255	138	5	255	152
始良市	108	202	161	79	5	161	106
合 計	255	486	426	227	10	427	268



奉仕団員による活動支援



救援物資の搬入

ウ 台風第12号災害

台風第12号の影響による8月21日(木)からの大雨により県内各地で浸水やがけ崩れなどの被害が発生した。これを受け、当支部では、鹿児島県の災害対策本部に職員を派遣し、情報収集や関係機関との調整を行い、被災世帯に対し、各地区を通じて救援物資を配付した。

地区	被災数		毛布	緊急セット	安眠セット	タオルケット	ブルーシート
	世帯	人数					
鹿児島市	3	6	0	3	0	6	2
薩摩川内市	2	3	1	1	0	3	2
南さつま市	46	48	1	0	0	1	46
南九州市	2	3	3	2	0	3	2
合計	53	60	5	6	0	13	52



救援物資輸送の準備



地区への救援物資の引渡し



(3) 災害救護訓練等の実施と参加

ア 日本赤十字社九州八県支部合同災害救護訓練

大規模地震対応計画の実効性及び対応体制の検証を行い、九州各県支部の連携を強化することを目的に、南海トラフ地震が発生したとの想定で、12月7日（日）から8日（月）にかけて宮崎県支部事務局を会場として訓練を実施した。

・参加者 日赤本社・九州各県支部 43人
(うち鹿児島県支部 3人)



支部の災害対策本部の運営（宮崎県支部）

イ 各機関が実施する防災訓練への参加

(ア) 鹿児島県総合防災訓練

「大雨により地盤が緩むおそれがある中、震度6強の地震が発生した」という想定で、5月25日（日）にさつま町で実施された鹿児島県主催の訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	4人
	鹿児島赤十字病院	6人
	さつま町赤十字奉仕団	7人
	赤十字アマチュア無線奉仕団	8人
	計	25人



避難所運営訓練



炊出し訓練



救援物資輸送訓練

(イ) 多数傷病者事故対応訓練

「乗用車が商業施設の敷地内に進入して暴走し、負傷者が多数発生した」という想定で、9月8日（月）に鹿児島市消防局主催で実施された訓練に支部職員2人が参加した。

(ウ) 第56回桜島火山爆発総合防災訓練（住民避難訓練）

「桜島の火山活動が活発化し、噴火警戒レベルが引き上げられ、桜島住民の避難が始まった」との想定で、11月15日（土）に鹿児島市主催で実施された訓練に支部職員1人が参加した。

(エ) 第56回桜島火山爆発総合防災訓練（避難所体験・展示訓練）

「桜島の爆発・地震等による災害発生に際して防災関係機関が相互に緊密な連携を保ちながら、各種の災害応急対策が迅速・適切に行われるよう防災体制の実効性について検証・確認を行うとともに、住民の防災意識の高揚と知識の向上を図る」ことを目的に、1月10日（土）に鹿児島市主催で実施された訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	2人
	防災ボランティアリーダー	1人
	日赤鹿児島市地区	1人
	赤十字アマチュア無線奉仕団	7人
	<u>鹿児島中央赤十字奉仕団</u>	<u>20人</u>
	計	31人



非常通信訓練



防災に関する取組みの紹介



炊出し訓練

(オ) 桜島火山爆発総合防災訓練（図上訓練）

「桜島の大規模噴火の兆候に伴う、住民避難等の各種の災害応急対策が迅速・的確に行われるよう、関係機関相互の連携強化など災害対応能力の向上を図る」ことを目的に、1月14日（水）に鹿児島県主催で実施された訓練に支部職員2人が参加した。

(カ) 鹿児島県国民保護共同訓練（図上訓練）

「武力攻撃予測事態下における離島からの域外避難を想定した訓練を通じて、関係機関相互の連携強化、地域住民の国民保護措置への理解促進等を図る」ことを目的に、2月3日（火）に鹿児島県主催で実施された訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	1人
	<u>鹿児島赤十字病院</u>	<u>1人</u>
	計	2人

ウ 救護員育成に係る研修

(ア) こころのケア研修会

鹿児島県支部管内職員を対象に、被災者に対するこころのケアの実施方法並びに救護員自身のこころのケアの対処方法の習得を目的として、8月22日(金)に鹿児島赤十字病院で実施し、17人が参加した。

(イ) 日本赤十字社救護班要員研修Ⅰ

鹿児島県支部管内職員を対象に、災害時に的確な対応ができる救護員を育成することを目的として、9月7日(日)に赤十字会館で実施し受講者及びスタッフ合わせて44名が参加した。



(ウ) 日本赤十字社救護班要員研修Ⅱ

日本赤十字社第6ブロック管内の救護班要員等を対象に、災害救護活動に必要な知識・技術の向上や、大規模災害時における日本赤十字社の対応能力の強化を図ることを目的として、1月31日(土)から2月1日(日)にかけて福岡県久留米赤十字会館で実施され、当支部から受講者5人とスタッフ4人が参加した。



避難所支援を想定した演習



病院支援を想定した演習

(4) 救援物資の備蓄・配分

災害発生時に速やかに災害救援物資を被災者に配分できるよう、支部倉庫及び県内 37 の地区・分区に備蓄している。

ア 救援物資の備蓄状況

令和8年3月31日現在

品名 備蓄先	毛布 (枚)	緊急セット (セット)	タオルケット (枚)	見舞品セット (セット) ※	ブルーシート (枚)
支部倉庫	766	240	1,666	0	1,520
37常備地区	1,805	873	1,205	333	1,103
計	2,571	1,113	2,871	333	2,623

※「見舞品セット」は、製作を中止し補充無し。

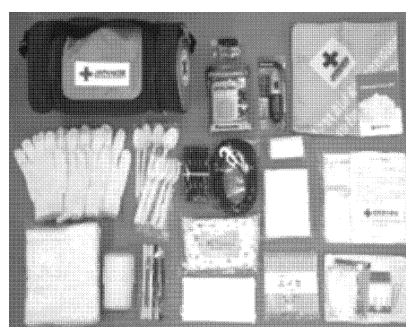
イ 救援物資配分基準

品名	災害区分	
	全焼・半焼・全壊・半壊・流失・床上浸水	
毛布	被災者1人につき	1枚
緊急セット (タオル・携帯ラジオ・懐中電灯・風呂敷等)	被災世帯1世帯につき	1セット
タオルケット	被災者1人につき	1枚
ブルーシート	被災世帯1世帯につき	1枚

(注) 世帯標準構成員は4人を想定(死亡者は世帯構成員に含めない)



毛布



緊急セット



タオルケット



ブルーシート

ウ 救援物資常備地区及び配分区域

令和8年3月31日現在

常備地区	配分区域	常備地区	配分区域
鹿児島市役所	鹿児島市	南九州市社協	南九州市
鹿屋市社協	鹿屋市	伊佐市社協	伊佐市
枕崎市社協	枕崎市	姶良市社協	姶良市
阿久根市社協	阿久根市、長島町	さつま町社協	さつま町
出水市社協	出水市	湧水町社協	湧水町
指宿市社協	指宿市	県大隅地域振興局	東串良町、錦江町、 南大隅町、肝付町、大崎町
西之表市社協	西之表市	県熊毛支庁	中種子町、南種子町
垂水市社協	垂水市	県大島支庁	大和村、宇検村、龍郷町
薩摩川内市社協	薩摩川内市 (上甕町、下甕町以外)	瀬戸内町社協	瀬戸内町
薩摩川内市社協 甕島	薩摩川内市上甕町	喜界町社協	喜界町
薩摩川内市社協 甕島(下甕駐在)	薩摩川内市下甕町	徳之島町社協	徳之島町
日置市社協	日置市	天城町社協	天城町
曾於市社協	曾於市	伊仙町社協	伊仙町
霧島市社協 本所	国分市、隼人町、福山町 溝辺町	和泊町社協	和泊町
霧島市社協 牧園支所	牧園町、横川町、霧島町	知名町社協	知名町
いちき串木野市社協	いちき串木野市	与論町社協	与論町
南さつま市社協	南さつま市	県屋久島事務所	屋久島町
志布志市社協	志布志市	三島村出張所	三島村 (竹島、硫黄島、大里、片泊)
奄美市社協	奄美市	支部直送	十島村

(注) 社協：社会福祉協議会

エ 支部及び常備地区における救援物資の備蓄状況

令和8年3月31日現在

支 部	本社毛布					本社緊急セット					支部見舞品セット					(支部・本社)タオルケット					支部ブルーシート				
	繰越	補充戻入	破損消却	配分	残数	繰越	補充戻入	破損消却	配分	残数	繰越	補充戻入	破損消却	配分	残数	繰越	補充戻入	破損消却	配分	残数	繰越	補充戻入	破損消却	配分	残数
支 部	1,396	241	1	870	766	326	240	12	314	240	0	2	2	0	0	2,316	323	3	970	1,666	1,871	141	1	491	1,520

※配分分置の数字は、支部から直接、被災者へ配分したものと、常備地区への分置の合計。

常備地区名	繰越	受入	返却	配分	残数	繰越	受入	返却	配分	残数	繰越	受入	返却	配分	残数	繰越	受入	返却	配分	残数	繰越	受入	返却	配分	残数
鹿児島市	90	0	0	11	79	44	12	0	6	50	16	0	0	0	16	64	20	0	6	78	48	0	0	4	44
鹿屋市	29	10	1	15	23	19	0	0	8	11	0	0	0	0	0	28	10	1	15	22	14	5	1	7	11
枕崎市	20	0	0	0	20	14	0	0	0	14	15	0	0	0	15	20	0	0	0	20	134	0	0	100	34
阿久根市	18	0	0	3	15	10	0	0	1	9	3	0	0	1	2	23	0	0	3	20	14	0	0	1	13
出水市	51	0	0	0	51	17	0	0	0	17	23	0	0	0	23	5	0	0	0	5	8	0	0	0	8
指宿市	36	0	0	1	35	23	0	0	1	22	4	0	0	0	4	49	0	0	1	48	16	0	0	1	15
西之表市	32	0	0	3	29	4	0	0	2	2	1	0	0	1	0	32	0	0	3	29	21	0	0	2	19
垂水市	37	0	0	1	36	28	0	0	1	27	18	0	0	1	17	14	0	0	1	13	19	0	0	1	18
薩摩川内市	75	0	0	2	73	33	0	0	8	25	7	0	0	1	6	58	0	0	24	34	55	0	0	3	52
薩摩川内市(上瓶)	20	0	0	15	5	16	6	0	7	15	5	0	0	0	5	19	20	0	15	24	34	0	0	7	27
薩摩川内市(下瓶)	6	0	0	0	6	17	0	0	0	17	6	0	0	0	6	21	0	0	0	21	23	0	0	0	23
日置市	20	10	0	6	24	17	6	0	4	19	8	0	1	2	5	23	10	0	6	27	17	5	0	4	18
曾於市	37	20	0	12	45	37	18	0	11	44	24	0	0	5	19	36	20	0	12	44	27	15	0	11	31
霧島市(国分)	22	520	240	259	43	18	300	144	140	34	18	0	0	0	18	21	520	240	259	42	23	310	140	154	39
霧島市(牧園)	15	0	0	0	15	10	0	0	0	10	4	0	0	0	4	17	0	0	0	17	11	0	0	0	11
いちき串木野市	13	10	0	3	20	23	0	0	2	21	10	0	0	2	8	15	10	0	3	22	22	0	0	2	20
南さつま市	62	0	0	2	60	40	0	0	1	39	40	0	0	1	39	28	0	0	2	26	43	100	0	47	96
志布志市	20	0	0	0	20	14	0	0	0	14	0	0	0	0	0	16	0	0	0	16	14	0	0	0	14
奄美市	56	0	0	1	55	57	0	0	1	56	22	0	0	1	21	124	0	0	0	124	129	0	0	0	129
南九州市	4	20	0	3	21	2	6	0	2	6	0	0	0	0	0	8	20	0	3	25	4	10	0	2	12
伊佐市	40	0	0	3	37	29	0	0	3	26	0	0	0	0	0	38	0	0	3	35	25	0	0	3	22
さつま町	16	10	0	4	22	11	6	0	2	15	2	0	0	2	0	13	10	0	4	19	10	5	0	2	13
湧水町	17	0	0	4	13	17	0	0	1	16	0	0	0	0	0	16	0	0	4	12	16	0	0	1	15
始良市	37	210	0	176	71	15	120	0	89	46	2	0	0	0	2	34	300	80	183	71	21	140	0	113	48
大隅地区	92	0	0	8	84	62	6	0	5	63	50	0	0	2	48	81	0	0	8	73	60	0	0	4	56
熊毛地区	106	0	0	4	102	31	0	0	1	30	24	0	0	1	23	37	0	0	1	36	27	0	0	1	26
大島地区	542	0	0	6	536	64	0	12	2	50	26	0	0	2	24	81	0	0	6	75	81	0	0	2	79
瀬戸内町	36	0	0	3	33	27	0	0	1	26	0	0	0	0	0	39	0	0	3	36	40	0	0	1	39
喜界町	10	10	0	4	16	7	6	0	3	10	0	0	0	0	0	7	10	0	4	13	13	0	0	3	10
徳之島町	44	0	0	0	44	22	0	0	0	22	0	0	0	0	0	24	0	0	0	24	25	0	0	0	25
天城町	35	0	0	2	33	28	0	0	2	26	0	0	0	0	0	25	0	0	2	23	24	0	0	2	22
伊仙町	12	0	0	5	7	11	0	0	3	8	0	0	0	0	0	10	0	0	5	5	23	0	0	3	20
和泊町	15	0	0	2	13	17	0	0	1	16	5	0	1	1	3	17	0	2	2	13	13	0	0	1	12
知名町	31	0	0	0	31	17	0	0	0	17	14	0	0	0	14	18	0	0	0	18	17	0	0	0	17
与論町	17	0	0	0	17	16	0	0	0	16	0	0	0	0	0	44	0	0	0	44	27	0	0	0	27
屋久島事務所	51	0	0	0	51	24	0	0	0	24	11	0	0	0	11	31	0	0	0	31	18	0	0	0	18
三島村	20	0	0	0	20	10	0	0	0	10	0	0	0	0	0	20	0	0	0	20	20	0	0	0	20
常備地区計	1,784	820	241	558	1,805	851	486	156	308	873	358	0	2	23	333	1,156	950	323	578	1,205	1,136	590	141	482	1,103

※「返却」欄の数字は、破損等による支部への返却数であり、支部の「補充戻入」欄に反映される。

※常備地区間の補充も「受入」欄及び「配分」欄に計上している。

(5) 救護資機材の整備

災害発生時に速やかに救護活動が行えるよう、次の救護資材を整備、更新した。

ア 支部における救護資材の整備

- (ア)炊出し釜 1セット
- (イ)救護員用Tシャツ 59着
- (ウ)救護用作業衣 50着

イ 支部における救護資機材の整備状況

令和8年3月31日現在

救護資機材の名称	整備状況	救護資機材の名称	整備状況
超短波無線電話 全県移動システム	1式	発電機	9
無線装備 (150MHz帯)	基地局(固定)2 移動局 55	投光器	12
無線装備 (400MHz帯)	基地局 1 移動局 20	炊出し用釜セット	6
無線装置 (二重免許)	携帯基地局 2 携帯局 2	医療セット	2
携帯電話	5	携帯型医療セット	1
衛星電話	可搬型 4 車載型 1	マジックギブス	3
通信機器 (パソコン、スマートフォン、タブレット、モバイルリーダー)	各 1	アンビューバッグ	3
ポータブル電源 (モバイルバッテリー、蓄電池)	モバイルバッテリー 3台 蓄電池 5台	血圧計	8
カーナビゲーション	9	点滴台	10
救急車	病院 1	寝袋	36
災害救援車	3	寝袋用マット	16
災害連絡車	4	折畳式リヤカー	4
通信指令車	1	折畳式自転車	2
エアータント	3	医療セット置き台	2
フレーム式拡張テント	3	輸液ポンプ	10
災害用テント	3	簡易型心電図モニター	1
担架	37	携帯型除細動器	1
担架架台	10	ポータブル人工呼吸器	1
浄水機	1	GPS 機能付車載無線機	1

市町村	旧市町村	災害救援車		天幕		プレハブ (物資)倉庫 〔大〕		炊出し用 釜セット		災害物資 保管庫 〔小〕		サーチライト			
												自動車用		公民館用	
		数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度
鹿児島市	鹿児島市	1	H20	5	S51・S54 S56・S56・H5							1	H1	44	H2
	谷山地域			2	S52・S63									16	H2
	吉田町			2	S56・H4									5	H2
	桜島町			3	S51・S62・H13			1	H12	1	H2	1	H1	3	H2
	喜入町									1	H2			7	H2
	松元町														
	郡山町			1	H1									6	H2
鹿屋市	鹿屋市	1	R5	2	S61・H5									30	H2
	輝北町			2	S56・H4			1	H13	1	S62	1	H1	6	H4
	串良町			2	S51・S62			1	H12	1	S62	1	H3	7	H4
	吾平町			2	H4・H13					1	S63	1	H1	5	H4
枕崎市			1	R1	1	H13	1	S58	1	H13					
阿久根市			1	R5					1	H13					
出水市	出水市	1	H28	1	H13			1	H12			1	H1	2	H2
	野田町							1	H16						
	高尾野町							1	H13			1	H3	3	H3
指宿市	指宿市	2	H16・R4			1	H26							1	H2
	山川町	1	H30					1	H15	1	S63			1	H2
	開聞町	1	H15							1	S63			1	H2
西之表市			1	H15					1	H13	1	H2			
垂水市					1	H13			1	H14	1	H2		6	H2
薩摩川内市	川内市			3	S51・S61・H13	1	H5	1	H15			1	H1	20	H2
	樋脇町			2	S56・H4									6	H3
	入来町	1	H19	2	S56・H2			1	H2	1	H12	1	H1	9	H3
	東郷町	1	H1	2	S56・H5			1	H15	1	S63	1	H1	6	H3
	祁答院町	1	H23	2	S59・H5			1	H15	1	S62			6	H3
	里村	1	H11	2	S55・H3					1	S63			6	H3
	上甕村	2	H14・H22	1	H3	1	R2	1	H16					8	H3
	下甕村	1	H29	2	S52・H1			1	H14	1	H11			2	H3
	鹿島村	H29.4下甕と合併									1	S63			
日置市	東市来町	1	H28	2	S54・H1			1	H15					8	H3
	伊集院町	1	R2	3	S53・H1			1	H13	1	H10			5	H3
	日吉町	1	H26					1	H16					7	H3
	吹上町	1	H25					1	H12	1	H2				
曾於市	大隅町	1	H24	2	H1・H9			1	H13	1	S63	1	H1	8	H4
	財部町	1	H14	2	S55・H2					1	S62			5	H4
	末吉町	1	H28	1	H1			1	H14	1	S63	1	H1	14	H4
霧島市	国分市	2	H23・R6					1	H16						
	溝辺町			2	S54・H2					1	H2				
	横川町			1	H4			1	H16						
	牧園町			2	H2・H13	1	R3	1	H12	1	H1				
	霧島町							1	H13	1	S63				
	隼人町			1	S54			1	H16	1	H2				
	福山町			1	H4					1	S63				
いちき串木野市	串木野市	1	R3	2	S61・H5			1	H14	1	H2				
	市来町	1	H10	2	S56・H4			1	H15	1	H11				
南さつま市	加世田市			1	H5	1	H24	1	H12	1	H2			1	H2
	笠沙町			1	H4			1	H14	1	S62	1	H1	5	H2
	大浦町			1	H1			1	H14	1	S62	1	H3	1	H2
	坊津町			2	S56・H5			1	H15	1	S62				
	金峰町							1	H13						

市町村	旧市町村	災害救援車		天幕		プレハブ (物資)倉庫 〔大〕		炊出し用 釜セット		災害物資 保管庫 〔小〕		サーチライト				
		数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	自動車用		公民館用		
												数量	整備年度	数量	整備年度	
志布志市	松山町			1	H5			1	H13	1	H2			4	H4	
	志布志町	1	R6					1	H15	1	S62			3	H4	
	有明町	1	H25					1	H12	1	S62			1	H4	
奄美市	名瀬市			1	S63	1	H25	1	H15							
	住用村									1	H1					
	笠利町			2	S54・H2			1	H16	1	H1					
南九州市	穎娃町	1	H19	2	S53・H1			1	H21	1	S62			7	H2	
	知覧町	1	H12	2	S54・H2			1	H12	1	H25	1	H3	8	H2	
	川辺町	1	H12	2	S53・H1	1	H12			1	S62			8	H2	
伊佐市	大口市	1	H18	3	S51・S62・H13	1	S60	1	H15	1	H2	1	H1	19	H2	
	菱刈町	1	H30	2	S55・H2	1	H29			1	H2	1	H3	6	H4	
始良市	加治木町			2	S54・H1			1	H16	1	H2					
	始良町	1	H16	2	S53・H1			1	H18	1	S63					
	蒲生町	1	H18	1	H2			1	H13	1	S63					
三島村			1	H3	2	S56・H5						1	H3	5	H2	
十島村					2	S56・H5								8	H2	
さつま町	宮之城町	1	H15	1	H5	1	H7									
	鶴田町	1	H12	2	S53・H1			1	H14	1	S63					
	薩摩町	1	H11	1	H4	1	H10	1	H13							
長島町	東町	1	H1	2	S54・61					1	S61	1	H3	11	H3	
	長島町	1	H24	2	H1・H13			1	H12	1	S61	1	H1	5	H3	
湧水町	栗野町			2	S55・H3	2	H10・R3	1	H14	1	S63					
	吉松町	2	H13・H22	1	H4			1	H14	1	S63	1	H1			
大崎町			1	H16	2	S55・H2			1	H14	1	S62	1	H1	1	H4
東串良町				2	S55・H2					1	S62	1	H1	3	H4	
錦江町	大根占町	1	H14	2	S63・H13			1	H16	1	S62			9	H4	
	田代町			2	S56・H5			1	H15	1	S61	1	H1	4	H4	
南大隅町	根占町	1	H12	2	S55・H3			1	H14	1	S61			17	H4	
	佐多町			2	S56・H5			1	H13	1	S61					
肝付町	内之浦町			2	S54・H2			1	H15	1	S61					
	高山町	1	H27	2	S61・H5			1	H16	1	S63					
中種子町										1	S62					
南種子町				1	H1			1	H16	1	S61	1	H1			
屋久島町	上屋久町			1	H5			2	H12	1	S62					
	屋久町	1	H28					1	H16	1	S63	1	H1			
大和村					2	S61・H5			1	H12			7	H4		
宇検村				2	S55・H3			1	H16	1	S62			6	H4	
瀬戸内町			1	R3	2	S53・H1			1	H14	1	S62		21	H4	
龍郷町			2	H11・H23	1	H3	1	H25	1	H15				8	H4	
喜界町			1	R1	1	H1			1	H16	1	S62		10	H4	
徳之島町			2	H21・R2	2	S61・H5	1	H10	1	H15	1	S62	1	H1		
天城町			1	H27	1	H3			1	H15	1	S62				
伊仙町			1	H27	2	S55・H3			1	H14	1	S62		9	H4	
和泊町			2	H29・R5	1	H4			1	H14	1	S62	1	H3	5	H4
知名町			1	H29	1	H2			1	H14	1	S62		6	H4	
与論町			1	H30	2	S61・H5			1	H16	1	S62	1	H3	4	H4
鹿児島																
北薩														1	H3	
始良・伊佐				2	S54・H2	1	H11					1	H1	1	H4	
大隅				3	S53・H1	1	H6					1	H1			
熊毛				1	H3									1	H4	
大島				1	S62	1	R1							1	H4	
屋久島事務所						1	S56									
計		62		143		20		73		70		31		459		

※整備年度欄の「S」は昭和、「H」は平成、「R」は令和

(6) 赤十字救護連絡所の医薬品等補充

登山者等の負傷・急病への初期対応を目的として、自然公園財団高千穂河原支部(2カ所)に赤十字救護連絡所を設置し、負傷者の手当及び関係機関への通報をお願いしている。

(7) 救急用担架の配備

不特定多数の人が集合・通過する場所で、急病人やけが人が発生した場合に、誰でも自由に使用できるよう下記の場所に救急用担架を配備している。

(配備先)

施設区分	施設名等
駅	鹿児島中央駅、鹿児島駅、指宿駅、出水駅、隼人駅、吉松駅
港	鹿児島新港、西之表港、名瀬港、垂水港、宮之浦港、亀徳港、和泊港
公園等	吉野公園、平川動物公園、自然公園財団高千穂河原支部、輝北上場公園
体育館	指宿市、枕崎市、南さつま市、出水市、伊佐市、霧島市(国分、隼人)、垂水市、曾於市
運動場	県立鴨池野球場、県立鴨池陸上競技場、県総合体育センター体育館
神社	霧島神宮、新田神社、護国神社

(8) 洋上での遭難者に対する救援

洋上での遭難者等に救援を目的として、第十管区海上保安本部所属の巡視船に分置している救援物資の補充を行った。

海難救援物資の第十管区海上保安本部巡視船備付

令和8年3月31日現在

品名	前年度繰越	補充数	配分・消却数	翌年度へ繰越
毛布	133	42	5	170
作業服(上下)	上 134 下 134	上 41 下 41	上 5 下 5	上 170 下 170
肌着	135	44	9	170
日用品	135	55	25	165
スリッパ	136	39	5	170

(9) 臨時救護

公的機関・団体が開催する大会、祭典、行事等に救護員や看護師などを派遣した。

	実施日	行事名	派遣者(人)
1	8月23日	第23回かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会	医師1、看護師3、主事2、支部2、ボランティア1
2	10月19日	鹿児島市視覚障害者一日レクリエーション	看護師1
3	10月21日	鹿児島県戦没者追悼式	看護師2
4	10月31日	鹿児島県地域福祉推進大会	看護師1
5	11月5日	第38回ふるさとを興す県地域女性連研究大会	看護師1
6	11月21日	第45回交通安全母の会鹿児島県大会	看護師1
7	3月1日	鹿児島マラソン2026	医師1、看護師3、支部1



かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会



鹿児島マラソン

(10) 赤十字防災セミナー等

ア 赤十字防災セミナー実施回数

過去の災害から得た教訓を踏まえ、いつ発生するか分からない災害から命を守るために必要な地域における「自助」と「共助」の力を高める「防災・減災教育」の一環として、赤十字防災セミナーを実施した。

回	月/日	曜日	実施地区 (市町村)	実施団体 (対象)	受講者数	実施内容
1	4/13	日	大崎町	下持留自治公民館 (地域住民)	15	家具安全対策ゲーム(KAG)
2	5/2	金	いちき串木野市	いちき串木野市地区 (奉仕団員等)	70	家具安全対策ゲーム(KAG)
3	5/10	土	鹿児島市	仁田尾前自治公民館 (地域住民)	70	災害の備え

4	5/19	月	薩摩川内市	薩摩川内市立祁答院中学校 (中学生)	30	災害の備え
5	5/20	火	鹿児島市	松元松之尾公民館 (地域住民)	15	家具安全対策ゲーム (KAG)
6	5/20	火	南九州市	南九州市社会福祉協議会 (中学生)	5	家具安全対策ゲーム (KAG)
7	6/8	日	鹿児島市	皇徳寺コミュニティ協議会 (地域住民)	90	災害の備え
8	6/9	月	南九州市	南九州市社会福祉協議会 (民生委員)	34	家具安全対策ゲーム (KAG)
9	6/11	水	出水市	出水市赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	21	家具安全対策ゲーム (KAG)
10	7/1	火	鹿児島市	日本赤十字社鹿児島県支部 (中学生)	3	ひなんじょたいけん
11	7/10	木	鹿児島市	日本赤十字社鹿児島県支部 (中学生)	6	ひなんじょたいけん
12	7/11	金	薩摩川内市	薩摩川内市祁答院赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	35	家具安全対策ゲーム (KAG)
13	7/19	土	喜界町	喜界町赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	33	家具安全対策ゲーム (KAG)
14	7/25	金	薩摩川内市	薩摩川内市川内赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	50	家具安全対策ゲーム (KAG)
15	7/30	水	南九州市	南九州市社会福祉協議会 (地域住民)	13	家具安全対策ゲーム (KAG)
16	8/1	金	薩摩川内市	薩摩川内市立城上小学校 (教職員)	16	家具安全対策ゲーム (KAG)
17	8/2	土	鹿児島市	宇宿上二町町内会 (町内会員)	15	家具安全対策ゲーム (KAG)
18	8/4	月	鹿屋市	鹿屋市社会福祉協議会 (小中高生)	30	家具安全対策ゲーム (KAG)
19	8/7	木	湧水町	湧水町社会福祉協議会 (小中高生)	20	家具安全対策ゲーム (KAG)
20	8/18	月	南さつま市	南さつま市社会福祉協議会 (中高生)	30	ひなんじょたいけん
21	8/21	木	宇検村	宇検村赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	15	家具安全対策ゲーム (KAG)
22	8/22	金	奄美市	奄美市名瀬赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	30	家具安全対策ゲーム (KAG)

23	8/22	金	奄美市	奄美市住用赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	40	家具安全対策ゲーム (KAG)
24	8/23	土	龍郷町	龍郷町赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	30	家具安全対策ゲーム (KAG)
25	8/23	土	奄美市	奄美市笠利赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	108	家具安全対策ゲーム (KAG)
26	8/24	日	瀬戸内町	瀬戸内町赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	30	家具安全対策ゲーム (KAG)
27	8/26	火	出水市	出水市社会福祉協議会 (地域住民)	30	災害の備え 災害エスノグラフィー
28	8/30	土	屋久島町	屋久島宮之浦地区女性団体本部 (女性団体会員等)	20	家具安全対策ゲーム (KAG)
29	8/31	日	屋久島町	屋久島町赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	30	家具安全対策ゲーム (KAG)
30	8/31	日	日置市	日置市下与倉自治会 (地域住民)	15	ひなんじょたいけん
31	9/1	月	南さつま市	南さつま市社会福祉協議会 (商工会女性部員)	30	家具安全対策ゲーム (KAG)
32	9/7	日	鹿児島市	田上団地公民館 (地域住民)	20	ひなんじょたいけん
33	9/13	土	南種子町	日赤南種子町分区 (地域住民)	15	家具安全対策ゲーム (KAG) ひなんじょたいけん
34	9/20	土	鹿児島市	明和校区社会福祉協議会 (地域住民)	40	家具安全対策ゲーム (KAG)
35	9/20	土	南九州市	南九州市社会福祉協議会 (地域住民)	13	家具安全対策ゲーム (KAG)
36	9/21	日	日置市	日置市下与倉自治会 (地域住民)	20	災害図上訓練 (DIG) 家具安全対策ゲーム (KAG)
37	9/28	日	曾於市	月野校区社会福祉協議会 (地域住民)	30	災害の備え
38	9/29	月	始良市	始良市蒲生赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	32	家具安全対策ゲーム (KAG)
39	10/5	日	鹿児島市	八幡校区振興会第三支部 (地域住民)	30	災害図上訓練 (DIG)
40	10/10	金	薩摩川内市	薩摩川内市東郷赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	30	家具安全対策ゲーム (KAG)
41	10/11	土	日置市	高齢者サロンいっというみもんそ会 (サロンメンバー)	18	災害の備え

42	10/12	日	鹿児島市	鴨池シーサイトマンション第一管理組合 (マンション住民)	35	家具安全対策ゲーム (KAG)
43	10/17	金	さつま町	鹿児島県立薩摩中央高等学校 (高校生)	12	ひなんじょたいけん
44	10/17	金	鹿屋市	鹿屋市社会福祉協議会 (社協職員)	30	災害図上訓練 (DIG)
45	10/26	日	鹿児島市	前ヶ迫町内会 (地域住民)	40	災害エスノグラフィー
46	10/27	月	志布志市	志布志市社会福祉協議会 (ボランティア)	30	ひなんじょたいけん
47	11/11	火	鹿児島市	肝付町社会福祉協議会 (鹿児島国際大学生)	30	ひなんじょたいけん
48	11/22	土	鹿児島市	桜ヶ丘6丁目町内会 (地域住民)	50	家具安全対策ゲーム (KAG)
49	11/22	土	曾於市	岩川小学校PTA (小学生・保護者)	30	家具安全対策ゲーム (KAG)
50	11/30	日	鹿児島市	明和西町内会 (地域住民)	30	家具安全対策ゲーム (KAG)
51	12/12	金	さつま町	さつま町赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	30	ひなんじょたいけん
52	1/11	日	鹿児島市	水喰地区町内会 (地域住民)	20	災害図上訓練 (DIG)
53	2/7	土	阿久根市	阿久根市立三笠中学校 (保護者・教職員)	20	家具安全対策ゲーム (KAG)
54	2/9	月	鹿児島市	中洲校区コミュニティ (地域住民)	20	災害の備え
55	2/10	火	霧島市	霧島市国分赤十字奉仕団 (奉仕団員等)	60	ひなんじょたいけん
56	2/15	日	鹿児島市	星ヶ峯南町内会 (地域住民)	30	災害図上訓練 (DIG)
57	2/18	水	鹿児島市	荒田2丁目町内会 (地域住民)	30	家具安全対策ゲーム (KAG)
58	2/28	土	大崎町	県社会福祉士会大隅地区支部 (社会福祉士)	12	ひなんじょたいけん
59	3/14	土	霧島市	霧島市教育委員会社会教育課 (ボランティア登録者)	60	ひなんじょたいけん
59回					1,796	

【防災セミナー カリキュラム一覧】

- ・災害エスノグラフィー:大規模災害での被災者の経験談を通じて災害を迫体験することで、被災の具体的なイメージを理解する。
- ・災害図上訓練(DIG):地域の防災マップの作成を通じて、防災上の資源や危険箇所等を把握・理解し、個人や地域での防災対策の実施につなげる。
- ・災害への備え:災害・防災についての考え方や地震・大雨災害など災害別の想定被害等から、平時の備えの重要性を理解する。
- ・家具安全対策ゲーム(KAG):自宅(部屋)の平面図を描くゲームを通じて、地震で起こる被害や家具の安全対策の必要性を把握・理解し、身の安全を守る方法について行うべきことを検討する。
- ・ひなんじょたいけん:大地震における避難所生活の一部をイメージした「避難所をつくるカードゲーム」を通じて、避難所での「避難者の目線で心がける事柄」を理解する。



イ 赤十字防災ボランティアフォローアップ研修

赤十字防災ボランティアとして登録している方々を対象に、知識や技術の更なる向上を目的として4月26日(土)に実施し、23人が受講した。

ウ 赤十字防災教育事業(赤十字防災セミナー)指導者養成研修

赤十字防災セミナーの趣旨を理解し、その普及に当たる役割を担う指導者を養成する研修を、6月26日(木)から27日(金)にかけて実施し、管内施設職員や地区・分区職員、赤十字奉仕団員等23人の指導者を養成した。



エ 赤十字防災ボランティア研修

平時の防災・減災活動や、災害時の被災地支援に積極的に参加できる人材を養成することを目的として1月24日(土)に実施し、18人が受講した。



(11) 死亡弔慰金の支給

自然災害（地震、台風、高潮、洪水等）及び火災により亡くなられた方の遺族に対し、死亡弔慰金（死亡者1人につき2万円）を支給した。

地区・分区名	支給月	件数	支給金額（円）
鹿屋市地区	4月	1	20,000
霧島市地区	4月	1	20,000
南さつま市地区	5月	1	20,000
鹿児島市地区	6月	1	20,000
曾於市地区	7月	1	20,000
長島町分区	9月	2	40,000
大和村分区	12月	1	20,000
鹿屋市地区	2月	1	20,000
伊佐市地区	2月	1	20,000
薩摩川内市地区樋脇分区	3月	1	20,000
鹿児島市地区	3月	2	40,000
和泊町分区	3月	1	20,000
計		14	280,000

(12) 義援金の取扱い状況

国内で発生した災害の被災者を救援するための義援金を募集し、多くの県民の方々から温かい善意をお寄せいただいた。

◇義援金取扱い状況（鹿児島県支部受付分）

（令和8年3月31日現在）

義援金の名称（受付期間）	件数	金額（円）
令和6年能登半島地震災害義援金 （令和6年1月4日～令和9年3月31日）	131 (1,208)	3,573,974 (239,227,272)
令和6年9月能登半島大雨災害義援金 （令和6年9月25日～令和9年3月31日）	63 (203)	1,612,884 (7,501,786)
令和7年大船渡市赤崎町林野火災義援金 （令和7年3月6日～令和7年6月30日）	45 (82)	1,900,118 (4,730,141)
令和7年トカラ列島近海を震源とする地震災害義援金★ （令和7年7月15日～令和7年12月26日）	112	64,001,151

令和7年台風第8号に伴う災害義援金 (令和7年8月12日～令和7年12月26日)	17	114,153
令和7年8月6日からの大雨災害義援金 (熊本県) (令和7年8月19日～令和8年3月31日)	4	111,063
令和7年8月6日からの大雨災害義援金 (鹿児島県)★ (令和7年8月19日～令和7年12月26日)	195	47,493,613
令和7年台風第12号災害義援金★ (令和7年9月9日～令和7年12月26日)	39	33,880,381
令和7年台風第15号災害静岡県義援金 (令和7年9月10日～令和7年12月8日)	11	43,077
令和7年台風第22号及び台風第23号災害義援金 (令和7年10月22日～令和8年1月30日)	11	67,850
令和7年11月18日大分市佐賀関の大規模火災義援金 (令和7年11月26日～令和8年3月31日)	54	2,692,916
令和7年青森県東方沖地震義援金 (令和7年12月24日～令和8年1月30日)	8	15,164
合 計	690 (1,944)	155,506,344 (399,878,567)

※件数及び金額の（）は、受付期間中の累計。

※★印の義援金は、本社及び全国支部受付分含む。

2 看護師の養成

鹿児島県支部及び鹿児島赤十字病院では、優秀な看護学生の就学を支援するために、日本赤十字九州国際看護大学の看護学生を対象とした奨学金制度を設けている。

令和7年度は、下記のとおり奨学金を貸与した。

(1) 日本赤十字社鹿児島県支部

看護学生2人（2年生、4年生：各1人）に奨学金を貸与した。

1名：90万円、1名：45万円

※支部長の推薦を受けて入学した看護学生が対象

(2) 鹿児島赤十字病院

看護学生1人（4年生：1人）に年額70万円を貸与（うち20万円は支部が助成）



日本赤十字九州国際看護大学



授業の様子

3 救急法等の講習

県民の方々に人命を救う方法や健康で安全に暮らすための知識や技術を伝える救急法、水上安全法、幼児安全法及び健康生活支援講習を次のとおり実施した。

各種講習の開催状況

講習種別		実施回数	受講者(人)
救急法	基礎講習	19	477
	救急員養成講習	10	206
	短期講習	113	6,698
	計	142	7,381
水上安全法	救助員養成講習Ⅰ	2	12
	救助員養成講習Ⅱ	0	0
	短期講習	13	447
	計	15	459
健康生活支援講習	支援員養成講習	2	14
	短期講習	8	244
	計	10	258
幼児安全法	支援員養成講習	6	100
	短期講習	96	1,908
	計	102	2,008
合計		269	10,106

(1) 救急法

日常生活における事故防止や手当の基本、心肺蘇生、AED(自動体外式除細動器)を用いた電気ショック、止血の仕方、搬送、災害時の心得等についての知識と技術を学ぶ講習。

ア 基礎講習

実施日	対象	主催	受講者(人)
4月11日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	19
4月25日	学生	加世田常潤高等学校	8
5月24日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	27
6月4日	職域	鹿児島県警察学校	31
7月15日	学生	鳳凰高等学校	25
8月5日	一般	鹿児島県社会福祉協議会	47
8月12日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	22
8月25日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	20
9月24日	一般	鹿児島県社会福祉協議会	42
10月7日	学生	鹿児島城西高等学校	13
10月24日	学生	薩摩中央高等学校	17
10月28日	学生	鳳凰高等学校	11
11月19日	職域	鹿児島県警察学校	49
11月25日	職域	鹿児島赤十字病院	9
12月4日	学生	神村学園専修学校	58
12月15日	一般	屋久島環境文化研修センター	11
1月27日	学生	国分中央高等学校	36
2月7日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	15
2月25日	学生	志學館大学	17
合計 19回			477

イ 救急員養成講習

実施日	対象	主催	受講者(人)
5月31日～6月1日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	15
6月5日～6日	職域	鹿児島県警察学校	31
8月26日～27日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	17
10月29日～30日	学生	鳳凰高等学校	11
11月20日～21日	職域	鹿児島県警察学校	49
12月6日～13日	職域	鹿児島赤十字病院	9
12月16日～17日	一般	屋久島環境文化研修センター	11
1月29日～30日	学生	国分中央高等学校	36
2月8日～11日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	10
2月26日～27日	学生	志学館大学	17
合計 10 回			206

ウ 短期講習

県下各地域で 113 回実施し、6,698 人の受講者があった。

エ 「World First Aid Day 2025」

国際赤十字・赤新月社連盟は、9月の第2土曜日を「World First Aid Day」と定めて救急法等の普及を世界各地で行っており、これに合わせて9月6日（土）に鹿児島市の商業施設(オプシアミスミ)で熱中症に関するパネル展示や体験ブースのイベントを開催し、82人の参加があった。



(2) 水上安全法

水と親しみ、水の事故から人命を守るため、泳ぎの基本と自己保全、事故防止、溺れた人の救助、応急手当の方法などの知識と技術を学ぶ講習。

ア 救助員Ⅰ養成講習

実施日	対象者	主催	受講者(人)
6月7日～22日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	5
9月14日～23日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	7
合計2回			12

イ 短期講習

県下各地域で13回実施し、447人の受講者があった。

(3) 健康生活支援講習

誰もが迎える高齢期を健やかに生きるために必要な健康増進の知識や、高齢者の支援・自立に向けた生活の仕方や工夫を学ぶ講習。

ア 支援員養成講習

実施日	対象者	主催	受講者(人)
5月27日～28日	学生	薩摩中央高等学校	9
10月4日～5日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	5
合計2回			14

イ 短期講習

県下各地域で8回実施し、244人の受講者があった。

(4) 幼児安全法

子どもを大切に育てるために、乳・幼児期に起こりやすい事故の予防とその手当、かかりやすい病気の症状に対する手当などの知識と技術を学ぶ講習。

ア 支援員養成講習

実施日	対象者	主 催	受講者(人)
7月26日～27日	一 般	日本赤十字社鹿児島県支部	16
9月1日～2日	学 生	鹿児島キャリアデザイン専門学校	25
12月6日～7日	一 般	日本赤十字社鹿児島県支部	13
2月2日～3日	学 生	鳳凰高等学校	11
2月19日～20日	学 生	第一幼児教育短期大学	13
3月16日～17日	学 生	鹿児島女子短期大学	22
合計6回			100

イ 短期講習会

県下各地域で96回開催し、1,908人の受講者があった。

(5) 救急法等指導員の在籍状況

令和8年3月31日現在

区 分	支部職員(人)	施設職員(人)	ボランティア(人)	計(人)
救 急 法	7	21	82	110
水 上 安 全 法	3	8	31	42
健康生活支援講習	2	11	16	29
幼 児 安 全 法	2	8	24	34

4 赤十字奉仕団の活動

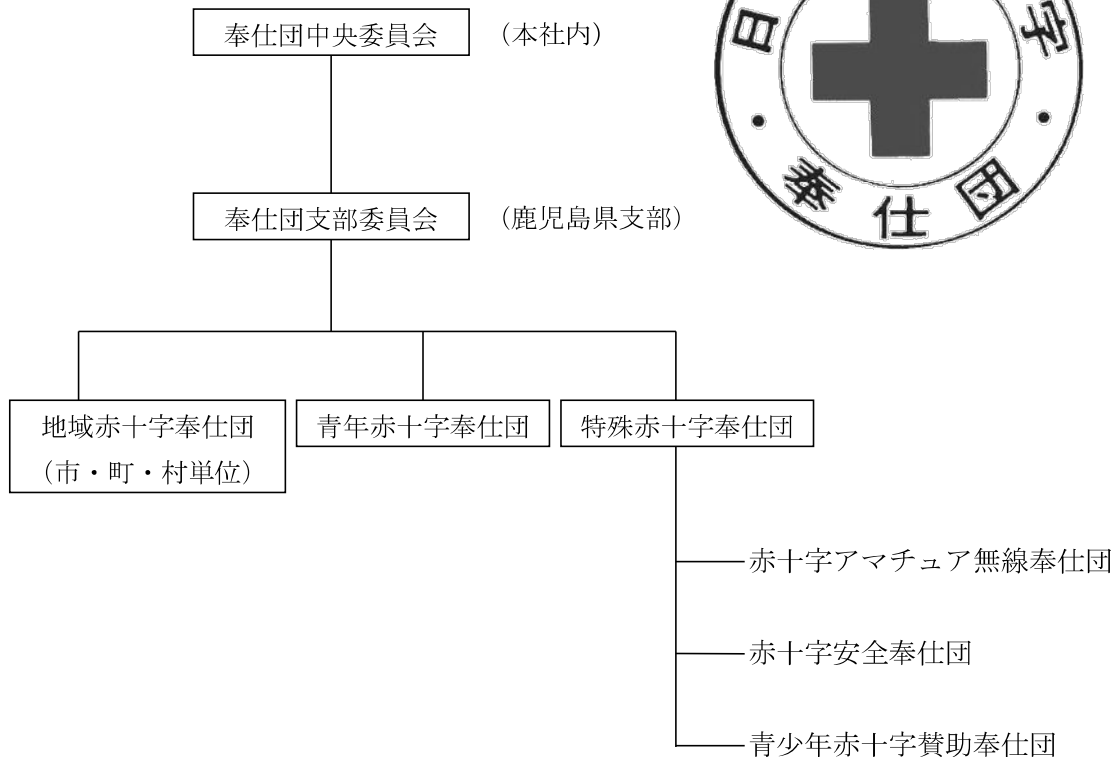
赤十字奉仕団は、赤十字の人道・博愛の精神に基づき、人道的な活動の実践を目的として結成されたボランティア組織である。

赤十字奉仕団は、明るく住みよい地域社会を築きあげていくために地域ごとに結成されている地域赤十字奉仕団と、勤労青年や学生によって結成されている青年赤十字奉仕団、及びアマチュア無線など特殊な技術を持った人達で結成されている特殊赤十字奉仕団からなっている。

赤十字奉仕団員の信条

- 一、すべての人びとのしあわせをねがい、陰の力となって人びとに奉仕する。
- 一、常にくふうして人びとのために、よりよい奉仕ができるよう努める。
- 一、身近な奉仕をひろげ、すべての人びとと手をつないで、世界の平和につくす。

(1) 赤十字奉仕団組織図



(2) 赤十字奉仕団及び奉仕団員数

令和8年3月31日現在

区 分		団数	団 員 数		
			男 (人)	女 (人)	計 (人)
地 域 赤 十 字 奉 仕 団		53	182	10,064	10,246
青 年 赤 十 字 奉 仕 団		1	3	9	12
特殊 奉仕 団	赤十字アマチュア無線奉仕団	1	269	8	277
	赤十字安全奉仕団	1	90	55	145
	青少年赤十字賛助奉仕団	1	47	6	53
計		57	591	10,142	10,733

(3) 地域赤十字奉仕団結成状況

令和8年3月31日現在

区 分	市町村数 (A)	奉仕団結成地域 (B)	奉仕団数	結 成 率 (B/A) (%)
市	19	16	39	84.2
町・村	24	17	17	70.8
計	43	33	56	76.7

(4) 総会及び研修会等開催状況

行 事 名	開 催 日	参加者 (人)	会 場	主 催
赤十字安全奉仕団総会	4月19日	72	赤十字会館 (オンライン併用)	安全奉仕団
青年赤十字奉仕団総会	4月20日	5	赤十字会館	青年奉仕団
青少年赤十字賛助奉仕団総会	5月17日	13	赤十字会館	賛助奉仕団
赤十字奉仕団鹿児島県 支 部 委 員 会	6月13日	13	県婦人会館	支部委員会 支 部
赤十字奉仕団委員長会議	6月13日	53	県婦人会館	支 部
ボランティアに役立つ技術研修	8月24日	11	赤十字会館 (オンライン併用)	青年奉仕団
賛助奉仕団研修会	9月20日	13	赤十字会館	賛助奉仕団
九州ブロック合同訓練・研修会	11月1～2日	36	鹿児島県ボー イスカウト 野営場	アマチュア 無線奉仕団
九州ブロック 赤十字奉仕団委員長会議	1月22日	2	オンライン会議	長崎県支部
赤十字奉仕団交流会	2月12日	12	赤十字会館	支 部

(5) 地域赤十字奉仕団研修会開催状況

赤十字に関する知識と奉仕団活動に必要な技術の習得及び奉仕団員としての意識高揚を図ることを目的として、次の16奉仕団が研修会を開催した。

奉仕団名	開催日	参加数 (人)	会場
出水市	6月11日	21	出水市社会福祉会館
薩摩川内市祁答院	7月11日	35	祁答院保健センター
喜界町	7月19日	33	喜界町休養村管理センター
薩摩川内市川内	7月25日	50	薩摩川内市総合福祉会館
宇検村	8月21日	15	宇検村地域福祉センター やけうちの里
奄美市名瀬	8月22日	30	奄美市名瀬公民館 金久分館
奄美市住用	8月22日	40	住用公民館
龍郷町	8月23日	30	生涯学習センター りゅうがく館
奄美市笠利	8月23日	108	笠利農村環境改善センター
瀬戸内町	8月24日	30	きゅら島交流館
屋久島町	8月31日	30	屋久島町総合福祉センター こまどり館
始良市蒲生	9月29日	32	始良市社会福祉協議会 蒲生支所
薩摩川内市樋脇	10月9日	19	樋脇保健センター
薩摩川内市東郷	10月10日	30	東郷保健センター
さつま町	12月12日	30	宮之城ひまわり館
霧島市国分	2月10日	60	国分総合福祉センター

(6) 地域高齢者生活支援事業

地域赤十字奉仕団が実施する在宅高齢者訪問等の生活支援活動を促進するため、次の22奉仕団に対し補助金を交付した。

- ・ 鹿児島中央
- ・ 指宿市指宿
- ・ 霧島市国分
- ・ 志布志市有明
- ・ 始良市蒲生
- ・ 伊仙町
- ・ 鹿児島市吉田
- ・ 薩摩川内市川内
- ・ 霧島市牧園
- ・ 奄美市笠利
- ・ さつま町
- ・ 和泊町
- ・ 鹿児島市郡山
- ・ 日置市伊集院
- ・ 南さつま市
- ・ 奄美市住用
- ・ 屋久島町
- ・ 鹿児島市城山きずな
- ・ 日置市吹上
- ・ 志布志市志布志
- ・ 始良市始良
- ・ 徳之島町



(7) 赤十字奉仕団登録一覧表

令和8年3月31日現在

奉仕団名	結成年月日	団員数(人)			奉仕団名	結成年月日	団員数(人)			
		男	女	合計			男	女	合計	
鹿児島中央	S41.4.1	0	171	171	南九州市川辺	S24.12.1	0	36	36	
鹿児島市吉田	S24.12.1	0	15	15	伊佐市	H2.10.5	54	88	142	
鹿児島市郡山	S24.12.1	0	30	30	姶良市姶良	S30.4.1	0	21	21	
鹿児島市城山きずな	R2.4.1	0	6	6	姶良市蒲生	S24.12.1	0	69	69	
鹿屋市	S24.12.1	0	50	50	さつま町	S24.12.1	0	16	16	
出水市	H10.3.19	3	77	80	大崎町	S56.4.1	0	29	29	
指宿市指宿	S24.12.1	0	20	20	錦江町※	S24.12.1				
指宿市山川	S24.12.1	0	30	30	南大隅町	S24.12.1	0	122	122	
西之表市	S24.12.1	0	29	29	肝付町	S24.12.1	0	75	75	
薩摩川内市川内	H3.4.17	0	159	159	南種子町	S52.4.1	0	403	403	
薩摩川内市樋脇	S24.12.1	0	30	30	屋久島町	S24.12.1	0	45	45	
薩摩川内市入来	S56.4.1	0	10	10	宇検村	H5.7.1	0	86	86	
薩摩川内市東郷	S24.12.1	10	50	60	瀬戸内町	S62.4.28	0	320	320	
薩摩川内市那答院	S24.12.1	0	78	78	龍郷町	S62.5.10	0	600	600	
日置市東市来	S24.12.1	1	9	10	喜界町	H2.5.17	0	580	580	
日置市伊集院	S24.12.1	0	10	10	徳之島町	H元.4.1	0	738	738	
日置市日吉	S24.12.1	0	95	95	天城町	H元.4.1	0	680	680	
日置市吹上	S56.4.1	0	198	198	伊仙町	H元.7.1	0	150	150	
曾於市大隅	S30.4.1	13	79	92	和泊町	S59.8.15	0	252	252	
曾於市財部	S38.4.1	27	62	89	知名町	S62.6.1	10	15	25	
曾於市末吉	S52.4.1	57	243	300	与論町※	S62.5.1				
霧島市国分	S24.12.1	0	362	362	地域奉仕団 計 53団			182	10,064	10,246
霧島市牧園	S24.12.1	7	122	129						
霧島市霧島	S24.12.1	0	20	20	青年	S30.4.1	3	9	12	
いちき串木野市	S24.12.1	0	2,707	2,707	青年奉仕団 計 1団			3	9	12
南さつま市	S24.12.1	0	195	195						
志布志市志布志	S56.4.1	0	40	40	安全	S54.2.17	90	55	145	
志布志市有明	S24.12.1	0	41	41	アマチュア無線	S50.4.1	269	8	277	
奄美市名瀬	S60.9.1	0	200	200	賛助	H14.11.13	47	6	53	
奄美市住用	H元.7.1	0	103	103	特殊奉仕団 計3団			406	69	475
奄美市笠利	S62.9.1	0	440	440	総計 57団			591	10,142	10,733
南九州市顚娃	S24.12.1	0	58	58						

※錦江町・与論地域赤十字奉仕団は活動休止

5 青少年赤十字の活動

赤十字は、未来を担う子どもたちが、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、優しさや思いやりの心を育むために、学校教育現場において青少年赤十字活動を推進しており、活動の充実のために、児童・生徒対象の研修会や、各学校・園の指導者向けの講習会を行った。

わたくしは
青少年赤十字の一員として
心身を強健にし
人のためと郷土社会のため
国家と世界のために
つくすことをちかいます

ち
か
い



実践目標

国際理解・親善
奉仕
健康・安全

態度目標

実行する
考え
気づき

(1) 校種別加盟状況

令和8年3月31日現在

区 分	加盟学校(園)	メンバー(人)	鹿児島県内の設置状況等	
			学校(園)	児童生徒(人)
幼稚園	11	905	84	4,628
保育園	24	911	-	-
認定こども園	17	1,517	287	17,378
小学校	233	41,323	458	81,575
中学校	95	18,228	207	44,824
義務教育学校	7	689	17	1,407
高等学校	20	11,453	90	55,343
特別支援学校	3	415	16	2,969
合 計	410	75,441	1,159	208,124

※鹿児島県内の学校(園)数、児童生徒数(保育園を除く)は令和7年4月6日現在。

(休校中の学校は除く。令和7年度「鹿児島県の教育行政」より)

県内の保育園の園数・園児数については統計資料なし。

(2) 加盟校の推移

年 度	区 分	幼・保・こ	小学校	中学校	義務教育	高校	特別支援	小～特 小計	合計
令和7年	学校(園)数	52	233	95	7	20	3	358	410
	県加盟校率	-	50.9	45.9	41.2	22.2	18.8	45.4	-
	メンバー数	3,333	41,323	18,228	689	11,453	415	72,108	75,441
	県メンバー率	-	50.7	40.7	49.0	20.7	14.0	38.7	-
令和6年	学校(園)数	53	246	98	7	20	3	374	427
	県加盟校率	-	52.9	47.6	41.2	22.2	18.8	47.1	-
	メンバー数	3,820	42,990	19,238	780	11,753	405	75,166	78,986
	県メンバー率	-	51.2	42.7	54.4	20.9	14.3	39.7	-
令和5年	学校(園)数	58	258	103	6	21	3	391	449
	県加盟校率	-	53.4	48.1	60.0	23.6	17.6	48.1	-
	メンバー数	4,218	45,145	20,737	792	11,654	384	78,712	82,930
	県メンバー率	-	52.5	45.8	56.8	28.6	14.2	44.7	-

(3) 会議等の参加及び開催

	行 事 名	開 催 日	会 場	参 加 者
本社	青少年赤十字支部担当者説明会 (オンライン会議)	4月18日	赤十字会館	JRC 担当
	支部青少年赤十字担当者研修会	6月17日	本 社	JRC 担当
	青少年赤十字全国指導者協議会 総会	7月4日	本 社	会 長
	全国青少年赤十字賛助奉仕団 総会役員会	7月8日・9日	本 社	委員長
九州	青少年赤十字指導者協議会 会長・担当者会議(オンライン会議)	12月23日	赤十字会館	会 長 JRC 担当
支部	青少年赤十字指導者協議会総会 ・研修会	5月16日	赤十字会館	36人

(4) 研修活動

	行 事 名	開 催 日	会 場	参加者等 (人)
本社	青少年赤十字 L・T・C 指導者養成講習会	5月30日～6月1日	国立 オリンピックセンター	指導者 1
	青少年赤十字国際交流事業	10月30日～11月3日	日本赤十字社 本 社	高校生 1
	指導主事対象青少年赤十字研究会	8月6日	日本赤十字社 本 社	指導主事 1
	青少年赤十字スタディー・センター	3月22日～26日	山中湖村 東 照 館	高校生 2
九州	九州ブロック青少年赤十字指導者養成講習会	8月18日～19日	熊 本 県	指導者 1
支部	校長・教頭・指導主事等対象青少年赤十字研修会	6月20日	赤十字会館	17
	夏季小・中・高校合同L・T・C	8月4日～6日	大隅青少年 自然の家	62
	学び・体験する JRC 講習会	8月18日・19日	赤十字会館	15
	JRC 高等学校交流・体験会	9月28日	赤十字会館	31
	中学校一日L・T・C	11月29日	赤十字会館	27
	小学校一日L・T・C	1月18日	赤十字会館	12
	高校協議会 JRC 研修・連絡会	3月8日	赤十字会館	8

※L・T・C = リーダーシップ・トレーニング・センター



夏季青少年赤十字L・T・C



校長・教頭・指導主事等対象
青少年赤十字研修会

(5) 青少年赤十字活動推進事業

青少年赤十字の実践・態度目標に沿った園児・児童・生徒の主体的な活動に必要なとする経費を助成し、青少年赤十字活動の充実・活性化の推進に資することを目的に、令和6年度から実施している。

- ・加盟校(園)から4校(園)程度に、50,000円を上限として助成する。
- ・活動成果はJRC機関紙に掲載、研修会・講習会等で報告する。

<令和7年度推進校(園)> 大村保育園、平山小学校、武岡小学校、井之川中学校

推進校(園)名	活 動 内 容
大村保育園 (薩摩川内市)	テーマ「心と体を育む奉仕活動」 ○ 青少年赤十字入団式 ○ 清掃活動・地域のゴミ拾い、落ち葉拾い ○ 緑化活動・野菜の栽培 ○ 防災教育・避難訓練と防災についての学び ○ 異年齢児交流
平山小学校 (南種子町)	テーマ「太陽が丘に あいさつの声ひびかせ 元気いっぱいやる気いっぱいの楽しい学校」 ○ 朝のボランティア活動 ○ 緑化活動・花植え、雑草取り ○ 美化活動・校区内のゴミ拾いや清掃活動 ○ 地域の方とのふれあい活動・昔遊びなど
武岡小学校 (鹿児島市)	テーマ「あいさつとふれあいとボランティア活動」 ○ 朝のボランティア活動 ○ 年1回のごみボランティア ○ 高齢者との交流・モルック、ポッチャ ○ 緑化活動・花苗のプレゼント ○ 国際理解を深める授業や読書活動
井之川中学校 (徳之島町)	テーマ「故郷を大切に」 ○ 校内や校庭の美化活動 ○ 地域のボランティア活動・生徒の企画による海岸清掃 ○ 地域の方とのふれあい交流 お礼の手紙や花苗プレゼントなど

(6) 高校協議会の活動

ア 月例会の開催(月1回)

新型コロナウイルス感染症流行期以降、活動を休止している。

イ 特別養護老人ホーム「錦江園」の訪問

新型コロナウイルス感染症流行期以降、活動を休止している。

ウ 献血ルームでのボランティアや募金活動

献血ルームでの献血の呼びかけや募金活動に参加している。

(7) 青少年赤十字100文字作文コンクール

加盟校の児童・生徒を対象に、毎年100文字作文コンクールを実施している。

※ 令和7年度作品応募 72校 7,337点

(8) 機関紙の発行

- ・ 青少年赤十字機関紙「ふれあいの窓（第43号）」 2,000部
- ・ 青少年赤十字賛助奉仕団会報「さくらじま（第15号）」 850部

(9) その他の青少年赤十字活動

ア NHK海外たすけあい街頭募金への参加

毎年12月に県内各地において、海外たすけあい募金活動を行っている。

イ 病気見舞カードの作成

病院に入院されている人々に病気お見舞いカードを送付している。

ウ 使用済み切手・書損じはがきの回収

取扱団体が換金し、アジア、アフリカの医療に恵まれない人々の保健医療の面でのサポートの資金として活用される。

エ 1円玉募金の実施

2カ国（ルワンダ、バヌアツ）に対し、子どもたちが衛生的な行動を身につける知識と技術の普及、学校における災害リスクの軽減及び防災の正しい知識を得る環境整備を目的とした支援を実施している。

オ プルタブの回収

学校で集めたプルタブをリサイクル業者で換金後、1円玉募金として本社に送金している。

(10) 校種別加盟校名簿

ア 保育園・幼稚園・認定こども園

令和8年3月31日現在

市 町 村	保 育 園	幼 稚 園	認 定 こ ど も 園
鹿 児 島 市	武、ほびあこども 柳田、南林寺、玉里 西紫原、清水、あたご 下伊敷、田上、鴨池 薬師、吉野、松原 なぎさ	太陽の子、鴨池しらうめ 鹿児島、武 鹿女短附属かもめ 鹿女短附属すみれ	玉里善き牧者、清谿 谷山善き牧者、若葉 辻ヶ丘、桜ヶ丘中央
鹿 屋 市			信愛こどもの園
指 宿 市		指宿	
垂 水 市		江ノ島	
薩摩川内市	高城、大村、隈之城 青山、勝目、あさひ	ひわき、かのこ	青山、善福寺、ひぼあ
日 置 市	あづま		
曾 於 市			大隅中央
始 良 市	川野		
霧 島 市			あおば
南さつま市		加世田しらうめ	
南九州市			穎娃
さ つ ま 町			
肝 付 町			おおぞら、あけぼの
屋 久 島 町			すみれ
和 泊 町			わどまり
知 名 町	しらゆり		
計	24園	11園	17園

市 町 村	小 学 校	中 学 校
鹿 児 島 市	大明丘、名山、山下、城南、原良 明和、武岡、清水、福平、武 田上、広木、中洲、中名、八幡 鴨池、南、桜丘東、宇宿 向陽、伊敷、伊敷台、花野、黒神 谷山、吉野東、坂元台、清和、平川 坂元、中郡、花尾、皇徳寺、本名 宮、本城、牟礼岡、桜洲、東桜島 前之浜、石谷、春山 生見、喜入、桜峰、瀬々串、西田 西紫原、大龍、西伊敷、吉田 東谷山、星峯東	甲東、武岡 武、天保山、南、伊敷台 黒神、谷山、谷山北 吉田北、吉田南、鴨池、伊敷 桜島、郡山、桜丘、松元 吉野、星峯、喜入
鹿 屋 市	笠野原、田崎、西原、寿、祓川 串良、野里、南、輝北 上小原、細山田、大黒 鹿屋、大始良、鶴峰 高隈、東原、寿北、西俣 西原台、吾平、下名、花岡学園	鹿屋、第一鹿屋、鹿屋東 串良、上小原、吾平、輝北 花岡学園、大始良、細山田、高隈 田崎
枕 崎 市	枕崎、立神	立神
阿 久 根 市	阿久根、脇本、大川	三笠
出 水 市	出水、米ノ津東 上場、下水流、	出水、高尾野、※鶴荘学園 米ノ津
指 宿 市	今和泉、川尻	南指宿、西指宿
西 之 表 市	下西、上西、伊関、古田	
垂 水 市	柗原、協和、牛根、松ヶ崎、新城	垂水中央
薩 摩 川 内 市	川内、隈之城、平佐東、永利、峰山 八幡、高来、樋脇、水引、育英 副田、城上、手打 入来、市比野、祁答院	入来、祁答院 里、海星 水引、※東郷学園 れいめい
日 置 市	湯田、美山 伊集院、土橋、永吉、花田	土橋、鹿児島育英館 伊集院
曾 於 市	笠木、諏訪、櫛 深川、柳迫、月野、財部南 光神、恒吉、中谷、岩南	財部
霧 島 市	国分、横川、安良、佐々木、中津川 霧島、中福良 万膳、大田、国分南	国分 隼人、溝辺、横川 牧之原

市 町 村	小 学 校	中 学 校
いちき串木野市	串木野、照島、羽島、旭、生福 川上、神村学園	串木野西、生冠、市来 神村学園
南さつま市	笠沙、川畑 大浦、益山	加世田、万世、※金峰学園
志布志市	泰野、志布志、原田、森山、田之浦 有明、松山、通山、尾野見	有明、松山、宇都
奄美市	朝日、赤木名、緑が丘、手花部 佐仁、節田	小宿
南九州市	別府、大丸 中福良、霜出、九玉、川辺	川辺
伊佐市	大口東、羽月、曾木、羽月西 本城、牛尾、菱刈	
始良市	三船、北山 西浦、蒲生、西始良	山田
三島村		※三島硫黄島学園、※大里学園 ※竹島学園
十島村		※平島学園
さつま町		宮之城
長島町	城川内、伊唐	川床、長島
湧水町		吉松
大崎町	大丸、大崎、中沖	
東串良町	柏原	
錦江町	大根占	田代、錦江
南大隅町	神山、佐多	根占、第一佐多
肝付町	内之浦、国見、◎高山	
中種子町	納官	
南種子町	花峰、大川、平山、長谷、島間	
屋久島町	金岳、神山	金岳、安房
大和村	大棚	大和
宇検村	名柄、◎田検	田検、名柄
瀬戸内町	諸鈍 与路、阿木名	諸鈍 阿木名、与路、池地
龍郷町	龍郷、円、龍瀬	赤徳
喜界町		喜界
徳之島町	亀津、花徳、母間、神之嶺、手々 山、尾母、亀徳	井之川、亀津、東天城、手々、尾母
天城町	兼久	
伊仙町	喜念、糸木名、犬田布	面縄
和泊町	大城、内城、国頭、和泊	城ヶ丘、和泊
知名町	下平川、上城	
与論町	那間、与論、茶花	与論
計	233校	95校 ※7校

◎は令和7年度に新規加盟 ※は義務教育学校

市 町 村	高 等 学 校 ・ 特 別 支 援 学 校
鹿 児 島 市	鹿児島玉龍、鹿児島実業、鹿児島情報、鹿児島女子 甲南、樟南、武岡台、鹿児島純心女子
鹿 屋 市	鹿屋特別支援学校
枕 崎 市	鹿児島水産
指 宿 市	指宿、指宿特別支援学校
薩 摩 川 内 市	れいめい
日 置 市	鹿児島育英館、鹿児島城西
霧 島 市	国分中央、福山
いちき串木野市	神村学園
南 さ つ ま 市	鳳凰、加世田常潤
志 布 志 市	尚志館
南 九 州 市	薩南工業
中 種 子 町	中種子特別支援学校
計	23校

高校20校、特別支援学校3校

6 国 際 活 動

日本赤十字社は、赤十字国際委員会、国際赤十字・赤新月社連盟及び各国の赤十字社・赤新月社等と連携して、紛争や自然災害などで苦しんでいる人々に対する救援活動や、発展途上国に対する開発協力等を行っている。

(1) 「NHK海外たすけあい」寄付金募集

12月1日から25日まで、日本放送協会（NHK）及び社会福祉法人NHK厚生文化事業団との共催で「第43回NHK海外たすけあい」キャンペーンを実施した。

県内6会場で実施した街頭募金活動を含め、多くの県民の方々から温かい善意をお寄せいただいた。（寄付金総額：10,905,347円）



街頭募金の様子

(2) 海外救援金の取扱い状況（鹿児島県支部受付分）

令和8年3月31日現在

救 援 金 の 名 称 (受 付 期 間)	件 数	金 額 (円)
中 東 人 道 危 機 救 援 金 (平成27年4月1日～令和8年3月31日)	6 (11)	383,273 (441,224)
バングラデシュ南部避難民救援金 (平成29年9月22日～令和8年3月31日)	1 (6)	108 (17,571)
ウクライナ人道危機救援金 (令和4年3月2日～令和8年3月31日)	16 (201)	191,732 (12,709,251)
2025年ミャンマー地震救援金 (令和7年4月1日～令和7年6月30日)	28	956,507
2025年アフガニスタン地震救援金 (令和7年9月4日～令和7年11月28日)	2	295
2025年パキスタン洪水救援金 (令和7年9月19日～令和7年11月28日)	3	545
海 外 救 援 金 (通期)	1 (4)	5,245 (59,639)
合 計	57 (255)	1,537,705 (14,185,032)

※件数及び金額の（ ）は、受付期間中の累計。

7 広 報 活 動

赤十字に対する県民のご理解とご協力の促進を図るため、5月の赤十字運動月間を中心に、チラシや機関紙の配布、地区・分区の協力を通じた地域住民への広報を行ったほか、地区・分区、奉仕団、青少年赤十字加盟校などへ視聴覚資材を提供し、赤十字思想の普及に活用していただいた。

(1) 「赤十字レッドライトアッププロジェクト2025」

5月8日(木)の「世界赤十字デー」を中心に、鹿児島県内の下記施設にご協力いただき、赤十字運動月間の周知及び「人道」の理解促進を図る「赤十字レッドライトアッププロジェクト2025」を実施するとともに、(株)山形屋1号館に懸垂幕を掲出し、赤十字活動資金への協力の呼びかけを行った。

また、(株)丸屋本社にご協力いただき、マルヤガーデンズでデジタルサイネージによるポスター掲示並びにパンフレットの設置を行った。

- ・株式会社山形屋（山形屋1号館）
- ・株式会社JR鹿児島シティ（アミュプラザ鹿児島 アミュラン）
- ・株式会社千日1・4開発（センテラス天文館 外壁ロゴマーク）
- ・クレインパークいずみ
- ・株式会社南日本銀行（南日本銀行本店）



山形屋1号館



アミュラン（観覧車）



センテラス天文館



クレインパークいずみ



南日本銀行本店



マルヤガーデンズ

(2) 各種イベント等の活用による広報

市町村社会福祉協議会主催の「社会福祉大会」や県内の各種イベント会場において、事業紹介パネル等の展示、救急法（心肺蘇生）の体験講習などを行い、赤十字活動の周知に努めた。



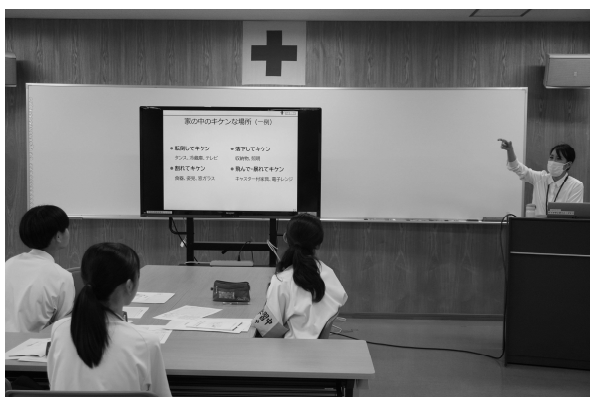
出水市生涯学習・福祉・ボランティアフェスタ



肝付町福祉フェスタ

(3) 見学誘致による広報

自治会・町内会や学生等の研修視察場所として赤十字会館をご見学いただき、事業内容や会費の使途等について説明を行い、社資協力に対する理解促進に努めた。



(4) 刊行物による広報

ア 支部発行

機関紙「赤十字かごしま」	年2回	65,200部
事業年報	年1回	540部
事業計画	〃	150部
赤十字会員増強運動月間用チラシ	〃	304,900部

イ 本社発行

赤十字新聞	月刊	18,000部
パンフレット	年1回	7,000部
ポスター	〃	2,050部

(5) 各報道機関等による広報

ア 民放テレビでの広報

県内の民放テレビ4社の情報番組に支部職員が出演し、赤十字の活動を紹介した。

イ WEBサイトやSNSでの広報

県支部WEBサイト、Facebook及びInstagramを活用して、赤十字事業や各種の情報について広く県民に紹介した。

○県支部WEBサイト URL : <https://www.jrc.or.jp/chapter/kagoshima/>

○県支部公式Instagram ID : @nisseki_kagoshima

○県支部公式Facebook ID : @jrc.kagoshima



8 赤 十 字 大 会

(1) 全国赤十字大会

日本赤十字社名誉総裁皇后陛下及び名誉副総裁各妃殿下のご臨席のもと、5月13日(火)に明治神宮会館(東京都)で開催され、当支部からは25人が出席した。

(2) 九州八県赤十字大会

11月13日(木)に川商ホール(鹿児島市)において、日本赤十字社名誉副総裁三笠宮寛仁親王妃信子殿下のご臨席のもと、「令和7年度九州八県赤十字大会」を開催し、九州各県から赤十字会員や赤十字ボランティア等約1,200人(県内約760人、県外約440人)の参加があった。

この大会は、赤十字事業の推進に貢献された方々を表彰するとともに、赤十字思想の普及と赤十字事業の推進を図ることを目的に、毎年九州各県が持ち回りで開催しており、本県では10年ぶりの開催となった。

今回の大会では、有功章・感謝状合せて284人の方が受章(彰)され、大会第1部の式典では、出席された150人の方に対して、名誉副総裁三笠宮寛仁親王妃信子殿下から有功章のご授与と、日本赤十字社清家社長から感謝状の贈呈が行われた。

第2部のアトラクションでは、天孫降臨霧島九面太鼓保存会による和太鼓の演奏が披露された。



令和7年全国赤十字大会



令和7年度九州八県赤十字大会

(3) 鹿児島県赤十字有功会総会

7月24日(木)にホテル・レクストン鹿児島で開催し、会員等55人が出席した。

- ・協議事項等 令和6年度事業報告及び収支決算
令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)
有功会理事の選出
- ・記念講演 「自然災害と防災
気象業務150周年を踏まえて」
北川賢哉氏(鹿児島地方気象台)



鹿児島県赤十字有功会総会

9 会 員 増 強 運 動

赤十字が行う各種事業の財源は、県民からお寄せいただく社資(会費や寄付金)によって支えられており、5月の「会員増強運動月間」を中心に、各地区・分区等関係者のご協力のもと、その増強に努めた。

また、継続的な社資の納入に加え、赤十字の事業・活動に積極的に協力していただける企業(赤十字サポーター)の募集に努めた。

(1) 令和7年度会費募集状況及び過去5カ年間の推移

区	分	目標額(千円)	実績額(円)	達成率(%)
令和3年度	一般会費	218,000	212,046,444	97.3
	法人会費	32,000	29,706,915	92.8
	計	250,000	241,753,359	96.7
令和4年度	一般会費	218,000	179,439,942	82.3
	法人会費	32,000	35,173,601	109.9
	計	250,000	214,613,543	85.8
令和5年度	一般会費	218,000	185,057,780	84.9
	法人会費	32,000	23,783,293	74.3
	計	250,000	208,841,073	83.5
令和6年度	一般会費	213,000	167,229,446	78.5
	法人会費	32,000	26,252,579	82.0
	計	245,000	193,482,025	79.0
令和7年度	一般会費	213,000	163,715,364	76.9
	法人会費	32,000	25,519,818	79.7
	計	245,000	189,235,182	77.2

(2) 令和7年度地区・分區別社資納入状況一覧表 (対社資目標額比較)

地区・分區	社資目標額(円)	納入額(円)	達成率(%)
鹿児島市	90,066,000	40,776,420	45.3%
鹿児島地域	83,937,500	36,497,790	43.5%
吉田地域	1,348,500	688,300	51.0%
桜島地域	412,500	525,500	127.4%
松元地域	2,043,500	764,300	37.4%
郡山地域	900,000	683,400	75.9%
喜入地域	1,424,000	1,617,130	113.6%
鹿屋市	14,430,000	7,894,764	54.7%
鹿屋地域	11,576,500	5,272,918	45.5%
輝北支所	415,500	490,500	118.1%
串良支所	1,632,000	1,468,214	90.0%
吾平支所	806,000	663,132	82.3%
枕崎市	2,854,500	2,800,800	98.1%
阿久根市	2,568,000	2,824,690	110.0%
出水市	7,233,500	6,741,863	93.2%
出水地域	5,070,500	3,566,113	70.3%
野田支所	511,000	881,667	172.5%
高尾野支所	1,652,000	2,294,083	138.9%
指宿市	5,361,000	6,007,406	112.1%
指宿地域	3,536,500	3,539,256	100.1%
山川支所	1,139,500	1,509,500	132.5%
開聞支所	685,000	958,650	139.9%
西之表市	2,173,500	1,702,048	78.3%
垂水市	1,973,500	2,579,808	130.7%
薩摩川内市	12,939,500	13,307,845	102.8%
川内分區	9,799,500	9,490,123	96.8%
樋脇分區	840,500	850,650	101.2%
入来分區	617,500	736,231	119.2%
東郷分區	632,500	855,159	135.2%
祁答院分區	410,500	634,236	154.5%
甕島分區	639,000	741,446	116.0%
日置市	6,036,000	7,269,733	120.4%
東市来分區	1,396,500	1,877,920	134.5%
伊集院分區	3,076,000	3,437,237	111.7%
日吉分區	563,500	808,033	143.4%
吹上分區	1,000,000	1,146,543	114.7%
曾於市	4,525,000	4,754,787	105.1%
大隅分區	1,292,500	1,282,219	99.2%
財部分區	1,019,500	1,409,330	138.2%
末吉分區	2,213,000	2,063,238	93.2%
霧島市	18,006,000	13,389,360	74.4%
国分地域	8,484,000	5,584,254	65.8%
隼人分室	5,526,000	3,329,068	60.2%
溝辺分室	1,124,000	1,258,270	111.9%
横川分室	532,000	602,636	113.3%
牧園分室	997,000	1,101,254	110.5%
霧島分室	663,000	663,121	100.0%
福山分室	680,000	850,757	125.1%
いちき串木野市	3,718,000	4,090,297	110.0%
南さつま市	4,321,500	5,741,206	132.9%
加世田地域	2,709,000	3,411,341	125.9%
笠沙支所	295,500	391,000	132.3%
大浦支所	234,000	397,500	169.9%
坊津支所	361,500	491,000	135.8%
金峰支所	721,500	1,050,365	145.6%
志布志市	4,081,000	3,764,504	92.2%
志布志地域	2,274,500	1,760,966	77.4%
松山支所	488,500	684,514	140.1%
有明支所	1,318,000	1,319,024	100.1%
奄美市	6,148,000	2,646,680	43.0%
名瀬地域	5,381,500	1,860,680	34.6%
笠利分區	766,500	786,000	102.5%
南九州市	4,401,000	5,218,388	118.6%
川辺分區	1,560,500	2,044,388	131.0%
知覧分區	1,435,500	1,563,500	108.9%
穎娃分區	1,405,000	1,610,500	114.6%

地区・分區	社資目標額(円)	納入額(円)	達成率(%)
伊佐市	3,265,500	4,143,534	126.9%
大口分區	2,330,000	3,093,459	132.8%
菱刈地域	935,500	1,050,075	112.2%

地区・分區	社資目標額(円)	納入額(円)	達成率(%)
始良市	10,667,500	5,911,688	55.4%
始良地域	6,864,500	2,851,295	41.5%
加治木支所	3,018,000	2,174,128	72.0%
蒲生支所	785,000	886,265	112.9%
小計	204,769,000	141,565,821	69.1%

三島村	57,000	4,480	7.9%
十島村	133,000	98,300	73.9%
小計	190,000	102,780	54.1%

さつま町	2,716,500	3,651,695	134.4%
小計	2,716,500	3,651,695	134.4%

長島町	1,237,500	1,782,527	144.0%
小計	1,237,500	1,782,527	144.0%

湧水町	1,243,500	1,521,540	122.4%
小計	1,243,500	1,521,540	122.4%

大崎町	1,790,000	1,538,104	85.9%
小計	1,790,000	1,538,104	85.9%

東串良町	866,000	928,856	107.3%
錦江町	888,500	1,197,000	134.7%
南大隅町	866,500	1,214,000	140.1%
肝付町	1,812,000	2,378,243	131.2%
小計	4,433,000	5,718,099	129.0%

中種子町	1,076,500	1,070,529	99.4%
南種子町	815,500	598,461	73.4%
屋久島町	1,807,500	2,266,700	125.4%
小計	3,699,500	3,935,690	106.4%

大和村	210,000	293,799	139.9%
宇檢村	228,000	591,600	259.5%
瀬戸内町	1,260,500	852,689	67.6%
龍郷町	853,500	938,850	110.0%
喜界町	962,000	1,295,500	134.7%
徳之島町	1,420,000	1,879,948	132.4%
天城町	792,500	1,090,601	137.6%
伊仙町	828,000	689,178	83.2%
和泊町	868,500	856,700	98.6%
知名町	803,000	1,011,000	125.9%
与論町	695,000	863,500	124.2%
小計	8,921,000	10,363,365	116.2%

市地区計	204,769,000	141,565,821	69.1%
郡地区計	24,231,000	28,613,800	118.1%
市郡地区計	229,000,000	170,179,621	74.3%

支部	19,055,561
地区DM	18,609,342
地区送納書	148,157,779
本社	3,412,500
合計	189,235,182

(3) 令和7年度地区・分區別社資納入状況一覧表 (対前年度比較)

地区・分區	令和07年度(円)	令和6年度(円)	対前年(%)
鹿児島市	40,776,420	49,152,421	83.0%
鹿児島地域	36,497,790	42,873,286	85.1%
吉田地域	688,300	2,695,625	25.5%
桜島地域	525,500	555,700	94.6%
松元地域	764,300	841,910	90.8%
郡山地域	683,400	730,000	93.6%
喜入地域	1,617,130	1,455,900	111.1%
鹿屋市	7,894,764	8,373,593	94.3%
鹿屋地域	5,272,918	5,770,063	91.4%
輝北支所	490,500	461,500	106.3%
串良支所	1,468,214	1,475,030	99.5%
吾平支所	663,132	667,000	99.4%
枕崎市	2,800,800	2,819,600	99.3%
阿久根市	2,824,690	3,102,660	91.0%
出水市	6,741,863	7,375,710	91.4%
出水地域	3,566,113	3,706,693	96.2%
野田支所	881,667	828,000	106.5%
高尾野支所	2,294,083	2,841,017	80.7%
指宿市	6,007,406	6,330,540	94.9%
指宿地域	3,539,256	3,767,540	93.9%
山川支所	1,509,500	1,595,000	94.6%
開聞支所	958,650	968,000	99.0%
西之表市	1,702,048	1,880,361	90.5%
垂水市	2,579,808	2,782,630	92.7%
薩摩川内市	13,307,845	13,417,149	99.2%
川内分區	9,490,123	9,711,050	97.7%
樋脇分區	850,650	854,017	99.6%
入来分區	736,231	770,016	95.6%
東郷分區	855,159	863,519	99.0%
祇答院分區	634,236	632,297	100.3%
甕島分區	741,446	586,250	126.5%
日置市	7,269,733	7,386,467	98.4%
東市来分區	1,877,920	1,926,234	97.5%
伊集院分區	3,437,237	3,482,700	98.7%
日吉分區	808,033	813,516	99.3%
吹上分區	1,146,543	1,164,017	98.5%
曾於市	4,754,787	4,835,659	98.3%
大隅分區	1,282,219	1,339,527	95.7%
財部分區	1,409,330	1,325,031	106.4%
末吉分區	2,063,238	2,171,101	95.0%
霧島市	13,389,360	13,884,569	96.4%
国分地域	5,584,254	5,553,419	100.6%
隼人分室	3,329,068	3,545,577	93.9%
溝辺分室	1,258,270	1,285,514	97.9%
横川分室	602,636	638,514	94.4%
牧園分室	1,101,254	1,156,016	95.3%
霧島分室	663,121	879,511	75.4%
福山分室	850,757	826,018	103.0%
いちき串木野市	4,090,297	4,161,030	98.3%
南さつま市	5,741,206	5,801,524	99.0%
加世田地域	3,411,341	3,421,898	99.7%
笠沙支所	391,000	412,000	94.9%
大浦支所	397,500	400,500	99.3%
坊津支所	491,000	523,600	93.8%
金峰支所	1,050,365	1,043,526	100.7%
志布志市	3,764,504	3,794,707	99.2%
志布志地域	1,760,966	1,787,369	98.5%
松山支所	684,514	677,500	101.0%
有明支所	1,319,024	1,329,838	99.2%
奄美市	2,646,680	3,013,229	87.8%
名瀬地域	1,860,680	1,985,929	93.7%
笠利分區	786,000	1,027,300	76.5%
南九州市	5,218,388	5,332,400	97.9%
川辺分區	2,044,388	2,079,000	98.3%
知覧分區	1,563,500	1,603,500	97.5%
額姪分區	1,610,500	1,649,900	97.6%

地区・分區	令和7年度(円)	令和6年度(円)	対前年(%)
伊佐市	4,143,534	4,211,875	98.4%
大口分區	3,093,459	3,116,852	99.2%
菱刈地域	1,050,075	1,095,023	95.9%

地区・分區	令和7年度(円)	令和6年度(円)	対前年(%)
始良市	5,911,688	6,162,432	95.9%
始良地域	2,851,295	2,905,635	98.1%
加治木支所	2,174,128	2,209,699	98.4%
蒲生支所	886,265	1,047,098	84.6%
小計	141,565,821	153,818,556	92.0%

三島村	4,480	17,711	25.3%
十島村	98,300	98,000	100.3%
小計	102,780	115,711	88.8%

さつま町	3,651,695	3,693,648	98.9%
小計	3,651,695	3,693,648	98.9%

長島町	1,782,527	1,813,500	98.3%
小計	1,782,527	1,813,500	98.3%

湧水町	1,521,540	1,524,601	99.8%
小計	1,521,540	1,524,601	99.8%

大崎町	1,538,104	1,500,000	102.5%
小計	1,538,104	1,500,000	102.5%

東串良町	928,856	959,761	96.8%
錦江町	1,197,000	1,268,000	94.4%
南大隅町	1,214,000	1,220,000	97.9%
肝付町	2,378,243	2,455,419	96.9%
小計	5,718,099	5,903,180	96.5%

中種子町	1,070,529	1,201,000	89.1%
南種子町	598,461	607,651	98.5%
屋久島町	2,266,700	2,432,333	93.2%
小計	3,935,690	4,240,984	92.8%

大和村	293,799	275,000	106.8%
宇檢村	591,600	555,000	106.6%
瀬戸内町	852,689	889,802	95.8%
龍郷町	938,850	933,450	100.6%
喜界町	1,295,500	1,204,000	107.6%
徳之島町	1,879,948	1,922,312	97.8%
天城町	1,090,601	1,042,137	104.7%
伊仙町	689,178	705,517	97.7%
和泊町	856,700	872,000	98.2%
知名町	1,011,000	1,047,000	96.6%
与論町	863,500	902,800	95.6%
小計	10,363,365	10,349,018	100.1%

市地区計	141,565,821	153,818,556	92.0%
郡地区計	28,613,800	29,140,642	98.1%
市郡地区計	170,179,621	182,959,198	93.0%

支部	19,055,561	10,522,827	181.1%
地区DM	18,609,342	23,298,881	79.9%
地区送納書	148,157,779	155,507,089	95.3%
本社	3,412,500	4,153,228	82.2%
合計	189,235,182	193,482,025	97.8%

(4) 令和7年度地区・分区别会員募集実績前年対比一覧表

	種類別内訳					法人 B	令和7年度 件数 A+B=C	令和6年度 件数 D	増減 C-D
	個人								
	500円以上 1,000円未満	1,000円以上 2,000円未満	2,000円以上 10,000円未満	10,000円 以上	計 A				
鹿 児 島 市	30,542	173	202	175	31,092	527	31,619	36,887	-5,268
鹿児島地域	25,427	169	199	166	25,961	521	26,482	31,778	-5,296
吉田地域	753	0	0	2	755	2	757	820	-63
桜島地域	984	0	1	0	985	0	985	1,092	-107
松元地域	677	1	0	0	678	2	680	892	-212
郡山地域	890	2	1	1	894	2	896	957	-61
喜入地域	1,811	1	1	6	1,819	0	1,819	1,348	471
鹿 屋 市	12,297	184	69	21	12,571	79	12,650	13,543	-893
鹿屋地域	7,573	183	67	17	7,840	70	7,910	8,675	-765
輝北支所	881	0	0	0	881	1	882	904	-22
串良支所	2,714	1	2	2	2,719	4	2,723	2,804	-81
吾平支所	1,129	0	0	2	1,131	4	1,135	1,160	-25
枕 崎 市	5,014	1	7	4	5,026	18	5,044	5,252	-208
阿 久 根 市	5,012	0	4	5	5,021	10	5,031	5,365	-334
出 水 市	9,991	202	13	13	10,219	45	10,264	10,753	-489
出水地域	5,805	139	10	7	5,961	28	5,989	6,352	-363
野田支所	1,189	57	1	1	1,248	5	1,253	1,294	-41
高尾野支所	2,997	6	2	5	3,010	12	3,022	3,107	-85
指 宿 市	9,323	175	21	17	9,536	20	9,556	9,943	-387
指宿地域	5,087	36	18	12	5,153	18	5,171	5,442	-271
山川支所	2,471	138	2	3	2,614	1	2,615	2,678	-63
開關支所	1,765	1	1	2	1,769	1	1,770	1,823	-53
西 之 表 市	2,678	32	3	2	2,715	9	2,724	2,781	-57
垂 水 市	4,641	0	4	0	4,645	9	4,654	4,879	-225
薩 摩 川 内 市	23,534	79	34	16	23,663	67	23,730	23,991	-261
川内分区	16,776	15	23	10	16,824	61	16,885	17,181	-296
樋脇分区	1,581	0	1	4	1,586	0	1,586	1,593	-7
入来分区	1,316	6	2	0	1,324	4	1,328	1,391	-63
東郷分区	1,616	13	4	1	1,634	0	1,634	1,675	-41
祁答院分区	894	0	3	1	898	2	900	1,056	-156
甌島分区	1,351	45	1	0	1,397	0	1,397	1,095	302
日 置 市	13,811	49	20	8	13,888	3	13,891	14,200	-309
東市来分区	3,691	0	0	2	3,693	1	3,694	3,793	-99
伊集院分区	6,285	48	17	4	6,354	2	6,356	6,462	-106
日吉分区	1,614	1	0	0	1,615	0	1,615	1,626	-11
吹上分区	2,221	0	3	2	2,226	0	2,226	2,319	-93
曾 於 市	8,395	38	22	5	8,460	21	8,481	8,837	-356
大隅分区	2,370	1	2	1	2,374	7	2,381	2,505	-124
財部分区	2,376	0	9	2	2,387	8	2,395	2,434	-39
末吉分区	3,649	37	11	2	3,699	6	3,705	3,898	-193
霧 島 市	22,169	99	49	16	22,333	51	22,384	23,716	-1,332
国分地域	9,712	58	18	10	9,798	20	9,818	9,653	165
隼人分室	4,818	2	16	4	4,840	16	4,856	6,071	-1,215
溝辺分室	2,068	0	6	1	2,075	5	2,080	2,131	-51
横川分室	1,153	0	0	1	1,154	3	1,157	1,212	-55
牧園分室	1,790	38	4	0	1,832	2	1,834	1,903	-69
霧島分室	1,090	1	2	0	1,093	2	1,095	1,137	-42
福山分室	1,538	0	3	0	1,541	3	1,544	1,609	-65
いちき串木野市	7,134	373	19	1	7,527	0	7,527	7,636	-109
南 さ つ ま 市	8,137	1,159	16	7	9,319	38	9,357	9,509	-152
加世田地域	4,044	986	4	6	5,040	28	5,068	5,090	-22
笠沙支所	588	81	3	0	672	2	674	721	-47
大浦支所	641	52	5	0	698	2	700	716	-16
坊津支所	866	34	4	0	904	0	904	965	-61
金峰支所	1,998	6	0	1	2,005	6	2,011	2,017	-6
志 布 志 市	6,272	12	15	7	6,306	47	6,353	6,456	-103
志布志地域	3,117	8	7	4	3,136	16	3,152	3,243	-91
松山支所	1,095	0	3	0	1,098	12	1,110	1,092	18
有明支所	2,060	4	5	3	2,072	19	2,091	2,121	-30
奄 美 市	1,801	5	20	9	1,835	60	1,895	2,615	-720
名瀬地域	381	4	18	9	412	56	468	776	-308
笠利分区	1,420	1	2	0	1,423	4	1,427	1,839	-412

(4) 令和7年度地区・分区别会員募集実績前年対比一覧表

	種類別内訳					法人 B	令和7年度 件数 A+B=C	令和6年度 件数 D	増減 C-D
	個人								
	500円以上 1,000円未満	1,000円以上 2,000円未満	2,000円以上 10,000円未満	10,000円 以上	計 A				
南九州市	7,707	543	7	2	8,259	2	8,261	8,367	-106
川辺分区	4,020	0	1	1	4,022	0	4,022	4,099	-77
知覧分区	3,007	0	0	1	3,008	2	3,010	3,070	-60
颯娃分区	680	543	6	0	1,229	0	1,229	1,198	31
伊佐市	6,413	193	5	3	6,614	15	6,629	6,908	-279
大口分区	1,953	55	1	0	2,009	0	2,009	2,072	-63
菱刈地域	4,460	138	4	3	4,605	15	4,620	4,836	-216
始良市	7,522	323	28	10	7,883	27	7,910	8,152	-242
始良地域	2,825	251	22	6	3,104	11	3,115	3,075	40
加治木支所	3,036	72	6	3	3,117	16	3,133	3,315	-182
蒲生支所	1,661	0	0	1	1,662	0	1,662	1,762	-100
小計	192,393	3,640	558	321	196,912	1,048	197,960	209,790	-11,830
三島村	8	0	0	0	8	0	8	3	5
十島村	23	34	11	1	69	1	70	76	-6
小計	31	34	11	1	77	1	78	79	-1
さつま町	6,264	63	5	8	6,340	7	6,347	6,636	-289
小計	6,264	63	5	8	6,340	7	6,347	6,636	-289
長島町	2,845	0	0	0	2,845	6	2,851	2,903	-52
小計	2,845	0	0	0	2,845	6	2,851	2,903	-52
湧水町	3,043	0	0	0	3,043	0	3,043	3,030	13
小計	3,043	0	0	0	3,043	0	3,043	3,030	13
大崎町	2,606	223	1	1	2,831	0	2,831	2,761	70
小計	2,606	223	1	1	2,831	0	2,831	2,761	70
東串良町	1,558	7	0	0	1,565	14	1,579	1,650	-71
錦江町	2,334	0	4	1	2,339	0	2,339	2,517	-178
南大隅町	2,388	0	0	1	2,389	0	2,389	2,440	-51
肝付町	4,246	41	10	1	4,298	16	4,314	4,487	-173
小計	10,526	48	14	3	10,591	30	10,621	11,094	-473
中種子町	1,981	0	0	0	1,981	4	1,985	2,139	-154
南種子町	899	6	1	2	908	4	912	897	15
屋久島町	3,678	7	9	0	3,694	2	3,696	4,079	-383
小計	6,558	13	10	2	6,583	10	6,593	7,115	-522
大和村	480	0	0	0	480	1	481	432	49
宇検村	628	14	1	1	644	3	647	668	-21
瀬戸内町	1,339	6	3	1	1,349	22	1,371	1,384	-13
龍郷町	1,765	1	1	0	1,767	1	1,768	1,706	62
喜界町	2,113	0	3	5	2,121	11	2,132	2,177	-45
徳之島町	2,060	34	6	8	2,108	47	2,155	2,196	-41
天城町	1,505	0	1	0	1,506	56	1,562	1,444	118
伊仙町	1,114	23	2	0	1,139	2	1,141	1,153	-12
和泊町	1,391	17	8	0	1,416	2	1,418	1,561	-143
知名町	1,814	2	1	0	1,817	2	1,819	1,894	-75
与論町	1,509	0	0	0	1,509	2	1,511	1,607	-96
小計	15,718	97	26	15	15,856	149	16,005	16,222	-217
市地区計	192,393	3,640	558	321	196,912	1,048	197,960	209,790	-11,830
郡地区計	47,591	478	67	30	48,166	203	48,369	49,840	-1,471
地区分区計	239,984	4,118	625	351	245,078	1,251	246,329	259,630	-13,301
支部	60	64	290	93	507	244	751	728	23
合計	240,044	4,182	915	444	245,585	1,495	247,080	260,358	-13,278

(5) 令和7年度赤十字会員増強運動功労表彰

12月末までに会費募集目標額を達成し、さらに次の基準を満たす地区・分区等を支部長名で表彰した。

ア 令和7年度の会費等実績額が前年度実績の102%以上となった地区・分区

地域区分	地区・分区名	地区・分区数
市地区	鹿児島市地区（喜入地域）、出水市地区（野田支所）、薩摩川内市地区（甕島分区）、霧島市地区（福山分室）	4
大島地区	宇検村分区	1
合 計		5

イ その他特に会員募集及び会費等募集に顕著な功績があった地区・分区等

※1,000円以上10,000円未満募集目標件数及び法人会員目標件数をそれぞれ110%以上達成し、かつ会費目標額を125%以上達成

地域区分	地区・分区名	地区・分区数
市地区	南さつま市地区（笠沙支所、大浦支所）	1
合 計		1

(6) 過去5カ年間の会員募集実績の推移

種別	年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		件数(件)	増減(件)	件数(件)	増減(件)	件数(件)	増減(件)	件数(件)	増減(件)	件数(件)	増減(件)
個人	500円以上 1,000円未満	275,923	△ 9,477	273,083	△ 2,840	261,927	△ 11,156	252,934	△ 8,993	240,044	△ 12,890
	1,000円以上	7,287	△ 619	6,544	△ 743	6,339	△ 205	5,909	△ 430	5,541	△ 368
	小計	283,210	△ 10,096	279,627	△ 3,583	268,266	△ 11,361	258,843	△ 9,423	245,585	△ 13,258
法人		1,497	△ 42	1,497	△ 0	1,511	14	1,515	4	1,495	△ 20
合計		284,707	△ 10,138	281,124	△ 3,583	269,777	△ 11,347	260,358	△ 9,419	247,080	△ 13,278

(7) 令和7年度一般社資金額別内訳一覧表

1件あたり金額	内訳	一般社資		個人住民税に関する 指定事業社資		合計	
		件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
1	100万円以上	3	7,000,000	0	0	3	7,000,000
2	50万円以上 100万円未満	2	1,000,000	0	0	2	1,000,000
3	20万円以上 50万円未満	1	365,000	1	200,000	2	565,000
4	10万円以上 20万円未満	22	2,260,000	4	400,000	26	2,660,000
5	5万円以上 10万円未満	22	1,127,928	0	0	22	1,127,928
6	3万円以上 5万円未満	39	1,201,500	0	0	39	1,201,500
7	1万円以上 3万円未満	348	4,245,244	3	50,000	351	4,295,244
8	5千円以上 1万円未満	326	1,969,412	0	0	326	1,969,412
9	1千円以上 5千円未満	4,770	5,592,096	0	0	4,770	5,592,096
10	500円以上 1千円未満	240,044	120,193,198	0	0	240,044	120,193,198
11	500円未満	94,809	18,110,986	0	0	94,809	18,110,986
社資合計		340,386	163,065,364	8	650,000	340,394	163,715,364

(8) 令和7年度法人社資金額別内訳一覧表

1件あたり金額	内訳	指定事業社資		その他法人社資		合計	
		件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
1	100万円以上	0	0	2	2,000,000	2	2,000,000
2	50万円以上 100万円未満	0	0	2	1,340,000	2	1,340,000
3	20万円以上 50万円未満	1	300,000	6	1,414,143	7	1,714,143
4	10万円以上 20万円未満	5	880,000	45	4,769,233	50	5,649,233
5	5万円以上 10万円未満	4	240,000	93	4,788,217	97	5,028,217
6	2万円以上 5万円未満	1	30,000	92	2,434,497	93	2,464,497
7	1万円以上 2万円未満	0	0	489	4,957,788	489	4,957,788
8	5千円以上 1万円未満	0	0	325	1,685,309	325	1,685,309
9	1千円以上 5千円未満	0	0	282	608,666	282	608,666
10	500円以上 1千円未満	0	0	71	53,307	71	53,307
11	500円未満	0	0	77	18,658	77	18,658
合計		11	1,450,000	1,484	24,069,818	1,495	25,519,818

(9) 日本赤十字社有功章等表彰受彰（章）者（社）名簿

※敬称略、順不同

◎日本赤十字社の表彰（章）

日本赤十字社感謝状 27件（うち不掲載希望者2件）

- ・弓場 秋信（鹿児島市）
- ・福田 光一（鹿児島市）
- ・永瀬 エイ子（鹿屋市）
- ・齊藤 一雄（鹿児島市）
- ・森 卓朗（薩摩川内市）
- ・株式会社 鹿児島銀行（鹿児島市）
- ・株式会社 肥後産業（鹿児島市）
- ・鹿児島県農業協同組合中央会（鹿児島市）
- ・株式会社サニタリー（鹿児島市）
- ・白玉醸造株式会社（肝属郡錦江町）
- ・株式会社 甲斐商店（伊佐市）
- ・南生建設株式会社（鹿児島市）
- ・三洋ハウス 株式会社（鹿児島市）
- ・南国殖産株式会社（鹿児島市）
- ・株式会社 渡辺組（鹿児島市）
- ・有限会社 岩川興業（熊毛郡屋久島町）
- ・長島研醸有限会社（出水郡長島町）
- ・公益社団法人いちょうの樹（鹿児島市）
- ・鹿児島空港ビルディング株式会社（霧島市）
- ・株式会社西川グループ本社（鹿児島市）
- ・有限会社アルプス環境（出水市）
- ・一般社団法人 鹿児島県建設業協会（鹿児島市）
- ・鎌田建設株式会社（霧島市）
- ・株式会社アリマコーポレーション（鹿児島市）
- ・有限会社 大黒自動車部品商会（鹿児島市）

金色有功章 20件（うち不掲載希望者4件）

- ・寺内 秀昭（熊毛郡南種子町）
- ・蔵屋 一枝（鹿児島市）
- ・上川路 長生（鹿児島市）
- ・公益社団法人 鹿児島県トラック協会（鹿児島市）
- ・有限会社白水電器水道設備（鹿屋市）
- ・株式会社 中村建設（大島郡宇検村）
- ・末重建設株式会社（霧島市）

- ・コーアツ工業株式会社（鹿児島市）
- ・株式会社 峰山建設（大島郡喜界町）
- ・株式会社サウスメディカル（鹿児島市）
- ・帝国倉庫運輸株式会社（鹿児島市）
- ・春日鉦山株式会社（枕崎市）
- ・社会福祉法人 奄美市社会福祉協議会（奄美市）
- ・医療法人 おとなとこどもの整形外科 おけたにクリニック（鹿児島市）
- ・重田建設株式会社（大島郡天城町）
- ・鹿児島水処理株式会社（鹿児島市）

銀色有功章 54件（うち不掲載希望者 4件）

- ・岩下 嘉代子（薩摩郡さつま町）
- ・今別府 哲矢（薩摩川内市）
- ・長嶺 三郎（鹿屋市）
- ・増満 房子（鹿屋市）
- ・岡 恒憲（鹿児島市）
- ・大村 昭一郎（大島郡徳之島町）
- ・株式会社 日本土木設計（霧島市）
- ・エスオーシー株式会社（垂水市）
- ・特定非営利活動法人 らんらんらん（鹿児島市）
- ・有限会社 山ヶ城保険事務所（垂水市）
- ・保池建設 株式会社（大島郡宇検村）
- ・株式会社 中村（伊佐市）
- ・株式会社 田島組（薩摩川内市）
- ・曾於市財部地区民生委員児童委員協議会（曾於市）
- ・上川路美恵野公認会計士事務所（鹿児島市）
- ・有限会社 フクソウ（鹿児島市）
- ・藤田建設興業株式会社（西之表市）
- ・有限会社 坂口組（いちき串木野市）
- ・有限会社 親和熱水研（鹿児島市）
- ・有限会社 東村石油店（志布志市）
- ・乗船寺仏教婦人会（指宿市）
- ・茅建設株式会社（鹿児島市）
- ・株式会社 さくらホスメディカル（鹿児島市）
- ・有限会社 三友建設（出水市）
- ・社会医療法人義順顕彰会 種子島医療センター（西之表市）
- ・株式会社 濱田組（薩摩川内市）
- ・日置市商工会（日置市）
- ・株式会社 上東建設（南さつま市）
- ・医療法人一桜会 吉留クリニック（始良市）

- ・公益財団法人慈愛会 徳之島病院（大島郡徳之島町）
- ・有限会社 亀津カーシティー（大島郡徳之島町）
- ・九州テクニカルメンテナンス株式会社 出水支店（出水市）
- ・佐藤電機株式会社（薩摩川内市）
- ・インフラテック株式会社（鹿屋市）
- ・公益社団法人 鹿児島県家畜畜産物衛生指導協会（鹿児島市）
- ・アイテック株式会社（鹿児島市）
- ・鹿児島県警友会連合会（鹿児島市）
- ・有限会社坂之上板金塗装（鹿児島市）
- ・株式会社 エム・ディ・エス（鹿児島市）
- ・公益社団法人 出水郡医師会立第二病院（出水市）
- ・串木野建設工業株式会社（いちき串木野市）
- ・本山機動株式会社（始良郡湧水町）
- ・三宝モーターズ有限会社（大島郡徳之島町）
- ・中村酒造株式会社（大島郡天城町）
- ・大洋建設 株式会社（大島郡伊仙町）
- ・株式会社 ムトウ（大島郡与論町）
- ・有限会社 木村建設（枕崎市）
- ・宗教法人 鹿児島神宮（霧島市）
- ・株式会社 三共建設（肝属郡錦江町）
- ・株式会社 肝属環境サービス（肝属郡肝付町）

10 評議員会及び監査等

(1) 支部評議員会

評議員会を次のとおり開催し、いずれの議案も原案どおり承認された。

- ・第1回支部評議員会（6月23日(月)：鹿児島サンロイヤルホテル）
第1号議案 令和6年度主要事業の実施状況報告及び令和6年度歳入歳出決算について
- ・第2回支部評議員会（2月4日(水)：マリンパレスかごしま）
第1号議案 令和8年度事業計画(案)及び令和8年度歳入歳出予算(案)について

(2) 業務監査

5月26日(月)に、支部監査委員2人により支部各施設の令和6年度の業務及び歳入歳出決算に係る監査が実施され、適正であるとの講評を得た。

※ 監査対象の会計

- ・日本赤十字社鹿児島県支部 一般会計
- ・鹿児島赤十字病院医療施設 特別会計
- ・特別養護老人ホーム錦江園社会福祉施設 特別会計

(3) 地区・分区関係各種会議等

会員増強運動並びに事業の進展を図るため、次の会議・研修会等を開催した。

ア 地区・分区事務長及び担当者研修会

- ・開催日 4月23日(水)～24日(木)
- ・場所 鹿児島県赤十字会館
- ・参加 69人
- ・研修内容 赤十字について
赤十字事務取扱要領について
日本赤十字社の活動報告
事例発表(赤十字防災セミナーの普及について)

イ 社業振興幹事会

- ・開催日 12月5日(金)
- ・場所 鹿児島県赤十字会館
- ・出席 20人
- ・議題 鹿児島県支部における社資募集の現状について
鹿児島県支部における社資募集の課題と今後の取組みについて
赤十字大会等について他

ウ 副地区長及び担当者会議(郡地区)

- ・開催日 1月23日(金)

- ・場 所 鹿児島県赤十字会館
- ・出 席 12人
- ・議 題 令和7年度(12月末時点)主要事業実施状況概要について
令和8年度事業計画について
令和7年度会員数・社資額の状況について
令和8年度赤十字会員増強運動事務処理要領及び目標額について
地区説明会について
令和8年全国赤十字大会について
令和8年度九州八県赤十字大会について

エ 市地区事務長会議

- ・開 催 日 2月20日(金)
- ・場 所 鹿児島県赤十字会館
- ・出 席 15人(市地区)
- ・議 題 令和7年度(12月末時点)主要事業実施状況概要について
令和8年度事業計画について
令和7年度会員数・社資額の状況について
令和8年度赤十字会員増強運動事務処理要領及び目標額について
令和8年全国赤十字大会について
令和8年度九州八県赤十字大会について

オ 郡地区説明会

- ・開 催 日 2月9日(月)～26日(木)(6地区6会場で開催)
- ・出 席 39人(郡地区・地区・分区担当者等)
- ・議 題 令和7年度(12月末時点)主要事業実施状況概要について
令和8年度事業計画について
令和7年度会員数・社資額の状況について
令和8年度赤十字会員増強運動事務処理要領及び目標額について
社業振興幹事会報告
令和8年全国赤十字大会について
令和8年度九州八県赤十字大会について

11 医 療 事 業

鹿児島赤十字病院は、公的病院として地域医療の進展に貢献していくため、一般病床120床をベースに災害時の医療救護、離島・へき地医療への取り組みはもとより、リウマチ・膠原病、関節・脊椎整形外科領域を主とする急性期医療など、各診療科領域において、適切な医療の提供に取り組み、その使命と役割を果たしている。

これらの医療活動を円滑に展開していくため、医師・看護師等人材の確保や医療機器・設備の改善とともに地域医療連携の一層の推進等を図りつつ、平均在院日数の短縮、病床稼働率の改善・向上など引き続き経営収支の改善と安定化に取り組むこととともに、医療サービスの質的向上・効率的提供や患者サービスの向上に努めた。

トカラ列島近海を震源とする地震対応のため、看護師1名が令和7年7月5日から7月8日まで悪石島での診療所支援活動等を行った。



トカラ列島近海を震源とする地震の際の悪石島（十島村）への看護師派遣の様子

（1）一般医療

ア 診療科目 9診療科

[内科・リウマチ科・循環器内科・呼吸器内科・整形外科・脳神経外科・麻酔科・放射線科・リハビリテーション科]

イ 診療日 月曜日～金曜日（緊急時はこの限りではありません）

ウ 診療実績

① 入院患者数

鹿児島赤十字病院は、昭和55年以降、結核病床主体から一般病床へのシフト化とともに、特定疾患としてリウマチ膠原病や骨粗しょう症、生活習慣病対策に取り組み、更に、関節・脊椎を主体とする整形外科を導入するなど予防・診断・治療からリハビリテーションまでの包括的医療体制を整備してきた結果、一般患者の診療圏が県内全域に及ぶようになった。

更に、平成15年7月に脳神経外科、平成16年3月には麻酔科、平成25年1月には循環器内科を設置し、診療活動の拡充に努めている。

入院患者延数は31,394人で、前年度より724人少なく、病床稼働率1.6%減となった。

〔診療科別入院患者数〕

(単位：人)

区 分	令和7年度				令和6年度				比較(R7-R6)			
	在院 延数	退院	患者延数 [在院+退院]	1日平均 患者数	在院 延数	退院	患者延数 [在院+退院]	1日平均 患者数	在院 延数	患者延数 [在院+退院]	1日平均 患者数	
内 科	3,115	134	3,249	8.9	2,690	169	2,859	7.8	425	390	1.1	
リウマチ科	6,157	462	6,619	18.1	7,878	603	8,481	23.2	Δ 1,721	Δ 1,862	Δ 5.1	
整形外科	19,753	628	20,381	55.8	19,478	670	20,148	55.2	275	233	0.6	
循環器内科	1,095	50	1,145	3.1	603	27	630	1.7	492	515	1.4	
合 計	30,120	1,274	31,394	86.0	30,649	1,469	32,118	88.0	Δ 529	Δ 724	Δ 2.0	
	病床稼働率			71.7%	病床稼働率			73.3%	病床稼働率			Δ 1.6%

② 外来患者数

外来患者数は34,420人で、前年度より330人少ない0.9%減となった。

〔診療科別外来患者数〕

(単位：人)

区 分	令和7年度	令和6年度	比較(R7-R6)	
			増減(人)	前年比(%)
内 科	4,602	4,751	Δ 149	96.9
リウマチ科	15,493	16,146	Δ 653	96.0
整形外科	10,619	10,261	358	103.5
呼吸器内科	712	556	156	128.1
脳神経外科	1,657	1,805	Δ 148	91.8
循環器内科	1,337	1,231	106	108.6
合 計	34,420	34,750	Δ 330	99.1

【参考】市町村別入院・外来患者数

(単位：人)

市町村	患者数		市町村	患者数		市町村	患者数	
	入院	外来		入院	外来		入院	外来
鹿児島市	18,416	19,899	奄美市	31	7	南種子町	38	27
鹿屋市	306	290	南九州市	1,928	2,952	屋久島町	130	47
枕崎市	929	1,336	伊佐市	56	51	大和村	0	0
阿久根市	19	172	姶良市	460	291	宇検村	0	4
出水市	64	156	三島村	77	22	瀬戸内町	78	1
指宿市	3,886	4,049	十島村	308	61	龍郷町	0	2
西之表市	208	54	さつま町	71	100	喜界町	21	11
垂水市	13	137	長島町	53	57	徳之島町	0	6
薩摩川内市	313	605	湧水町	11	34	天城町	0	6
日置市	436	754	大崎町	118	76	伊仙町	0	8
曾於市	67	49	東串良町	33	6	和泊町	0	10
霧島市	325	196	錦江町	0	57	知名町	19	22
いちき串木野市	132	525	南大隅町	0	12	与論町	0	3
南さつま市	1,069	1,901	肝付町	55	42	県 外	248	258
志布志市	26	99	中種子町	176	25	計	30,120	34,420

※入院患者数は在院延数で記載

③実習生受け入れ状況

受入担当部	期間	実習生数	実習項目	実習依頼校
整形外科部	第2・4週目の水曜日	5人	ポリクリ実習	鹿児島大学医学部5年・6年生
リハビリテーション科	5/12~7/4	2名	総合臨床実習Ⅰ	鹿児島大学医学部保健学科 理学療法専攻4年
	7/22~9/12	2名	臨床実習Ⅱ	鹿児島大学医学部保健学科 作業療法専攻4年
	10/27~10/31	2名	臨床実習Ⅰ (臨床見身体験実習)	鹿児島医療技術専門学校 理学療法学科1年
	2/24~2/25	2名	臨床評価実習	鹿児島大学医学部保健学科 作業療法専攻3年
看護部	5/12~5/30	5名	成人・老年看護学実習Ⅲ	医療法人協会立看護専門学校3年生
	5/26~6/13	10名	成人・老年看護学実習Ⅱ	鹿児島医療技術専門学校4年生
	6/23~7/11	5名	基礎看護学実習Ⅱ	医療法人協会立看護専門学校2年生
	7/7~7/18	6名	統合実習	希望ヶ丘学園鳳凰高校専門課程2年生

	8/18～8/29	6名	統合実習	希望ヶ丘学園鳳凰高校専門課程2年生
	8/25～9/12	10名	統合実習	鹿児島医療技術専門学校4年生
	9/16～9/26	15名	統合実習	希望ヶ丘学園鳳凰高校専門課程2年生
	10/6～10/24	5名	成人・老年看護学実習Ⅳ	医療法人協会立看護専門学校3年生
	10/13～10/31	10名	成人看護学Ⅰ	希望ヶ丘学園鳳凰高校専門課程2年生
	11/10～11/21	10名	成人・老年看護学実習Ⅱ	鹿児島医療技術専門学校3年生
	12/1～12/12	5名	成人・老年Ⅱ看護学実習Ⅱ	鹿児島医療技術専門学校3年生
	12/8～12/12	5名	看護を知る実習	医療法人協会立看護専門学校1年生
地域医療連携	8/4～9/8	2人	ソーシャルワーク実習Ⅱ	鹿児島国際大学

(2) 医療救護活動

赤十字病院の特徴として、台風や地震などの災害、事故などへの災害救護活動を使命としており、災害拠点病院及びDMAT指定病院に指定されている。

災害発生度の高い本県の気象条件、地理的特徴に鑑み、災害時に医師・看護師等を速やかに派遣し、その機能が十分発揮できるよう、常備救護班の整備や災害救護訓練に積極的に参加するなど、緊急時に備えるとともに、発災時には積極的な医療救護班の派遣に努めている。

令和7年度は下記医療救護活動、訓練・研修に救護班等を派遣した。

ア 医療救護活動

期日	日数	場所	内容	派遣職員
8月4～6日	3	大隅青少年自然の家	青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター救護	2人(看護師2)
8月23日	1	鹿児島港本港区	錦江湾サマーナイト大花火大会救護	6人(医師1、看護師3、主事2)
11月13日	1	鹿児島市	八県赤十字大会救護	2人(看護師2)
3月1日	1	鹿児島市	かごしまマラソン2025救護	4人(医師1、看護師3)

イ 災害救護訓練・研修

期日	日数	場所	内容	派遣職員
5月25日	1	さつま町	鹿児島県総合防災訓練	6人(医師2、看護師3、主事1) ※DMAT(医師1、看護師1)を含む
8月30日～31日	2	日赤本社	日赤災害医療コーディネート研修会	受講者1人(看護師1)
7月1日～31日	—	—	救護員登録研修(共通過程)eラーニング	受講者26人
7月3日～4日	2	大阪府	DMAT コーディネーションチーム研修	受講者1人(医師1)
7月23日～26日	4	兵庫県	日本DMAT 隊員養成研修	1人(看護師1)
8月22日	1	鹿児島赤十字病院	こころのケア研修会	指導者2人、受講者17人
8月1日～31日	—	—	救護班要員研修Ⅰ(eラーニング)	受講者24人
9月7日	1	日赤県支部	救護班要員研修Ⅰ(参集)	受講者24人、スタッフ8人
10月8日	1	熊本県	日本DMAT 技能維持研修	2人(主事2)
11月1日～2日	2	日赤本社	日赤災害医療コーディネート研修会	新規指導スタッフ1人(医師)
11月6日～7日	2	北海道	日赤原子力災害時の救護研修(第1ブロック・北海道支部)	スタッフ1人
12月4日～5日	2	兵庫県	日赤原子力災害時の救護研修(第4ブロック・兵庫県支部)	スタッフ2人
12月22日～24日	3	愛媛県	日本DMAT 隊員養成研修	1人(看護師1)

1月31日～2月1日	2	福岡県	救護班要員研修Ⅱ	スタッフ4人、受講者4人
2月3日	1	鹿児島市	鹿児島県国民保護共同訓練(図上)	1人(医師1)
2月5日～6日	2	東京都	DMAT コーディネーションチーム研修	受講者1人(医師1)
2月7日	1	日置市	鹿児島県原子力防災訓練	2人(放射線技師1、主事1)
2月22日～23日	2	鹿児島市	鹿児島県 DMAT 隊員養成研修	受講者3人、スタッフ4人
3月1日	1	—	こころのケア指導者フォローアップ研修会(WEB)	3人

(3) へき地医療

ア へき地医療拠点病院事業

鹿児島赤十字病院は、昭和56年4月1日から鹿児島広域市町村圏のへき地中核病院として県の指定を受け離島・へき地医療に携わってきたが、へき地中核病院の再編成により平成14年7月1日にへき地医療拠点病院として指定を受け県から4人の派遣医師を受入れ、離島・へき地診療所への医師の派遣及び巡回診療に取り組んでいる。

なお、三島村は平成12年10月から、十島村の上四島は平成14年4月からそれぞれ医師1人を派遣、へき地診療所で対応困難な緊急を要する患者を、ヘリコプター(県消防防災ヘリ等)で搬送する体制にも添乗医師として協力している。併せて、離島職員・患者と当院にいる医師が双方向でやりとりする遠隔医療(TV会議)システムを活用し、迅速な対応に努めている。

へき地医療拠点病院医師派遣事業の一環として、依頼があった際、へき地診療所等に代診医師の派遣を行うこととしているが、令和7年度は実績なし。



離島からの患者ヘリ搬送



遠隔医療(TV会議)システムによる診察

三島村・十島村医師等派遣

地区	診療所数	医師派遣延日数	看護師派遣延日数	延受診者数	医師添乗ヘリコプター急患搬送回数
三島村	4診療所	105.0	0.0	520	1回
十島村	7診療所	226.0	15.0	589	1回
計	11診療所	331.0	15.0	1,109	2回

イ へき地医療拠点病院医師派遣事業(代診医師)

派遣日	派遣先	派遣医師数(人)
	実績なし	

(4) 保健衛生事業

ア 保健衛生事業への協力

① へき地における住民検診・赤十字講習会等

事業名	実施地区	実施人員(人)		対前年比(%)
		令和6年度	令和7年度	
住民健(検)診及び健康診断	三島村(4地区)	471	473	100.4%
	十島村(7地区)			
予防接種	三島村(4地区)	975	463	47.5%
	十島村(7地区)			

赤十字救急法講習会 及びAED講習	三島村(4地区)	204	183	89.7%
	十島村(7地区)			
特定健康診査	三島村(4地区)	166	173	104.2%
	十島村(7地区)			
計		1,816	1,292	71.1%

②生活習慣病予防健診 (単位：人)

年度 種類	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
一般健診	400	361	252	298	292
人間ドック	64	36	30	21	18
脳ドック	87	0	0	0	0
計	551	397	282	319	310

(5) 相談援助・地域連携

ア 相談援助事業

内容	件数	内容	件数
受診・受療に関すること	3,824 件	日常生活に関すること	452 件
経済的問題に関すること	77 件	就労・就学に関すること	5 件
制度活用に関すること	653 件	身元保証・権利擁護に関すること	7 件
入院療養生活に関すること	437 件	死後対応に関すること	20 件
退院支援	2,503 件	その他 (IC 同席・合同カンファレンス等)	289 件
在宅療養・介護に関すること	744 件	その他 (チーム医療介入者数)	2,404 件
医療者との関係に関すること	16 件		
家族関係に関すること	51 件	対応患者数	8,875 件

※令和6年3月より居宅介護支援事業所は休止していたが令和8年3月末で廃止した。

12 血液事業

何事もなく朝を迎え、仕事に向かい、家族と夕食を囲む。そんな「いつもの生活」は、偶然そこにあるものではありません。その背後には、多くの人の時間と、見えない支えがあります。

血液事業は、国民の信頼のうえに成り立つ事業です。日本では「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律（血液法）」に基づき、献血者の安定的な確保と、安全な輸血用血液製剤の供給が社会的使命として定められています。同法は、輸血用血液製剤の国内自給を基本理念とし、国、都道府県、市町村、採血事業者、血液製剤の製造販売業者、そして医療関係者一人ひとりの役割と責任を明確にしています。加えて、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（薬機法）」に基づき、血液製剤の品質と安全性は厳格に管理されています。

日本赤十字社では、血液製剤のさらなる安全性向上と安定供給の確保、そして持続可能で信頼される事業体制の構築を目指し、鹿児島県で献血された血液の検査および輸血用血液製剤の製造は、九州ブロック血液センターで一括して行っています。献血された血液のおよそ半分は、患者さんの体内に届けられる輸血用血液製剤となり、残りの半分は、血漿分画製剤という医薬品の原料として利用されます。全国的には、輸血用血液製剤の需要が横ばいから漸減傾向で推移する一方、免疫グロブリン製剤の使用拡大により、血漿分画製剤の原料としての血液需要は、確実に増大しています。

令和7年度、鹿児島県では 58,913 人（対前年度比 99.9%）の方々が、“血液医療パートナー”として献血にご参加くださいました。お一人おひとりが提供して下さった約 60 分の時間は、確かに誰かの治療を支え、誰かの明日へとつながっています。心より感謝申し上げます。

一方で、本県では新型コロナウイルス感染症の影響を端緒とした移動採血における献血者数の減少に加え、少子高齢化の進行により、10代から40代の献血者数は引き続き減少傾向にあります。そのような状況の中にあっても、令和7年度に県内医療機関へ供給された輸血用血液製剤は、200mL 献血由来 652 本、400mL 献血由来 57,996 本、成分献血由来 13,354 本、合計 72,002 本（対前年度比 103.4%）にのびりました。これは 200mL 献血換算で 238,433 本に相当します。それだけ多くの「治療を受ける機会」が、そして多くの「帰るべき日常への入り口」が、県内の医療現場へ確かに届けられたことを意味しています。

鹿児島県赤十字血液センターは、献血して下さった皆様の貴重な一日一日が、誰かの「いつもの生活」を守る誇らしい日となるよう、命のリレーを確かにつなぐ役割を果たしてまいります。また、離島を数多く有する地域の血液センターとして、医療機関が安心して血液医療に専念できる供給体制を築くことは、私たちの重要な責務です。血液製剤発注システムの利用促進、定時配送体制の確立など、地道な改善を積み重ねながら、皆様と共に地域の命を支える共同体へと進化していきたいと考えています。

(1) 供給・採血実績

ア センター供給本数

(単位:本)

区 分	200mL由来	400mL由来	成分由来	合 計	200mL換算	対前年度比
全血製剤	0	0		0	0	0.0%
赤血球製剤	618	49,000		49,618	98,618	99.2%
血漿製剤	34	8,996	1,676	10,706	24,730	92.6%
血小板製剤	0	0	11,678	11,678	115,085	110.1%
合 計	652	57,996	13,354	72,002	238,433	103.4%
構 成 比	0.9%	80.5%	18.6%	100.0%		

※センター供給本数＝血液センター、鹿屋及び川内出張所の3施設から供給された合計本数

イ 献血者数

(単位:人)

区 分	200mL	400mL	成 分	合 計
血液センター	88	5,902	7,913	13,903
献血ルーム	268	5,820	7,479	13,567
献血バス	361	31,082		31,443
合 計	717	42,804	15,392	58,913
構 成 比	1.2%	72.7%	26.1%	100.0%
対 前 年 度 比	140.3%	98.9%	101.3%	99.9%

(2) 供給体制

医療機関からの血液要請に対して、受注から出庫・供給までの業務が円滑に行われるよう手順の確認を行い、関連する法令を遵守しつつ、業務が適切に図られるように教育訓練を徹底した。

また、各医療機関との情報交換及び連携強化を図り、确实且つ迅速な供給業務に努めるとともに、供給予測の強化を図り、有効利用の推進及び期限切れの抑制に努めた。

供給体制については、血液センター及び鹿屋・川内両出張所から、品質管理の行き届いた輸血用血液製剤を、鹿児島県内全医療機関に安全・迅速且つ確実に直接供給する体制を強化し、定時配送率85%以上を維持している。

医療機関からの血液製剤の発注については、製剤過誤防止、業務効率化の観点からほぼすべての供給医療機関よりWEB発注システムからの発注をいただいている。

令和7年9月1日より、第三次救急医療機関である県立大島病院を対象に、緊急時対応を目的とした臨時ATR（血液搬送装置）運用を開始した。

(3) 医薬情報活動

県薬務課及び鹿児島県合同輸血療法委員会と連携し、医療機関の輸血管理部門や輸血実施部門等に対し研修会を実施し、安全な輸血を行うための情報提供及び支援をし、受血者の安全性向上に努めた。

また、主要な医療機関へは院内の輸血療法委員会等に参加し、安定供給にかかる需要動向の把握、医療機関情報を積極的に収集した。

有害事象等の収集に努め、医薬品（輸血用血液製剤）販売後の安全管理業務を迅速に行った。

(4) 鹿児島県合同輸血療法委員会への協力

鹿児島県合同輸血療法委員会事務局として、世話人会や講師の先生方への働きかけや、県内の医療機関へ開催案内を発送するなどの協力を行い、第15回令和7年度鹿児島県合同輸血療法懇話会を開催した。

(5) 献 血 推 進

血液事業について、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」により、血液センターは採血事業者として献血の受入れの推進を行わなければならないと記されている。一方、国に対しては、血液製剤の安全性の向上や安定的な確保が求められており、地方公共団体に対しては、献血についての住民理解を深めるとともに、採血事業者による献血の受入れが円滑に実施されるよう必要な措置を講じなくてはならないと記されている。

医療に必要な血液の確保は、県民一人ひとりの献血運動に対する理解と協力に支えられているが、特に、少子高齢化が進む中、若年層の献血者確保に重点をおき、三者一体となった推進が必要である。

血液製剤の安定確保のため、400mL献血及び成分献血の推進強化に努めるとともに県民へ献血思想の普及啓発を図るため、県・市町村献血推進協議会及び各種団体の協力を得て、下記の事業を実施した。

◎6月3日 「市町村・保健所献血推進主管課長及び担当者会議」（集合・WEB開催）
血液製剤の安全性向上と安定供給を図るための基本方針や、最近の献血輸血用血液製剤の供給状況や安全対策等について説明を行った。

◎7月1日 「愛の血液助け合い運動月間」
～7月31日 長期休暇などにより学校や企業、団体から献血へのご協力が得られにくい夏季の輸血用血液の安定供給を図るため、厚生労働省・都道府県・日本赤十字社の主催により、毎年7月1日から1か月間にわたり全国各地で献血推進キャンペーンを実施している。
当県では、7月5日（土）に献血推進街頭キャンペーンを実施した。

◎10月10日 「ライオンズクラブ献血推進セミナー」
献血協力、推進等に大きな役割を果たしていただいている県内ライオンズクラブの役員、会員の方々を中心に更なる血液事業への理解と相互の情報交換を目的とした「献血推進セミナー」を開催した。
セミナーでは、県内の血液事業について説明を行うとともに、各クラブへ活動及び協力方法等の紹介を行い、今後の取組みについて対策等を協議した。

◎10月1日 「FM鹿児島ラジオキャンペーン」

～3月31日 継続的に献血に関する情報を発信する企画として今年度初めて実施した。けんけつ応援隊の四位笙子さんをパーソナリティに毎週月曜日のラジオ番組に出演し、献血協力を呼び掛けた。

◎12月9日 「学生クリスマス献血キャンペーン2025」

～12月24日 全国学生クリスマス献血キャンペーンの一環として、鹿児島県学生献血推進協議会の主催により、県内5か所（鹿児島大学・鹿児島国際大学・志学館大学・イオンモール鹿児島・鹿児島大学水産学部）において実施した。協賛企業・団体からのプレゼントによる抽選会、お菓子やドリンクサービスなど献血者が楽しめる企画を展開し、合計166名の協力が得られた。



◎1月1日 「はたちの献血キャンペーン」

～2月28日 成人として社会への第一歩を踏み出そうとしている若い方々を中心に、献血について理解を深めていただき、冬季における輸血用血液の安定供給を図るため、テレビやラジオCM、ポスター掲示等の広報を行うなど、成人の日を含む1月から2月の2カ月間全国的に展開している。

当県では、1月11日（日）天文館ベルク広場において、ライオンズクラブ、学生献血推進協議会等各種団体の協力を得て、街頭キャンペーンを実施した。

また、はたちの集い会場において献血を実施し、協力を呼び掛けた。



(6) 献血予約の推進と協力要請

献血の待ち時間や混雑緩和のため、「献血予約」を推進し、また、献血者減少時など必要に応じて献血への協力依頼を行った。

献血WEB会員サービス「ラブラッド」では、献血の予約や依頼要請をはじめ、検査結果の閲覧、様々な献血者、受血者等の声を伝えるサービスを提供している。

ラブラッド登録者数 (人)		
令和5年度	令和6年度	令和7年度
30,594	35,819	43,897

(7) 骨髄バンク事業

骨髄提供者の受付及び登録業務を行い、データ管理に万全を期すとともに、献血併行型骨髄バンクドナー登録会への協力に努めた。

(人)	
登録者受付数 (新規)	324
登録取消者数	259
累計登録者数	4,916
(前年度末累計登録者数)	4,851

(8) 献血功労者表彰

献血功労者として、次の団体が受賞された。

[厚生労働大臣表彰状] (2 団体)

- ・ ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 鹿児島テクノロジーセンター
- ・ 株式会社 日本計器鹿児島製作所

[厚生労働大臣感謝状] (9 団体)

- ・ 鹿児島県土地改良事業団体連合会
- ・ あまみ農業協同組合 天城事業本部
- ・ 薩摩川内警察署
- ・ 株式会社 JA食肉かごしま鹿屋工場
- ・ 公益財団法人慈愛会 今村総合病院
- ・ 社会福祉法人義順顕彰会 種子島医療センター
- ・ 医療法人 慈光会
- ・ 鹿児島いずみ農業協同組合
- ・ 株式会社 ホテル京セラ

13 社会福祉事業

特別養護老人ホーム錦江園は、ユニット型施設として指定介護老人福祉施設事業（80床）と短期入所生活介護事業（2床）の事業を行っている。

令和7年度においても、入居希望者の申込みを随時受け、外部委員を含む入居検討委員会を年4回開催し、円滑な入居と経営の安定に努めた。また、介護保険における「日常生活継続支援加算」、「夜勤職員配置加算」、「看護体制加算」、「個別機能訓練加算」等の加算項目の要件に適切に対応しながら経営の安定に努めた。

さらに、懸案となっている介護職員の処遇についても、「介護職員等処遇改善加算」による賃金の引き上げを行い、人材の確保に努めた結果、大きな欠員を生じることなく、質の高いサービス提供の維持を行うことができた。



なお、社会福祉事業の財源である介護保険事業収入は440,769千円となり、令和6年度（前年度）決算額430,710千円と比較すると、10,059千円の増収となった。



入居者の介護にあたっては、一人ひとりの個性や生活リズムに沿ってサービスを提供し、施設であっても自宅での生活を継続できるよう支援した他、入居者が有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう支援した。

さらに、鹿児島赤十字病院や歯科医療機関等の協力をいただき、入居者の健康管理、口腔ケアに努めた。

また、秋祭りを地域のボランティア等の協力を得ながら、7年ぶりに地域住民や入居者の家族といった外部の方々を招待し、開催した。

(1) 指定介護老人福祉施設事業

令和7年度の施設介護料収入は、職員の産育休復帰に伴う加算の再取得や入居率の向上等により、前年度より5,789千円増の328,583千円となった。

<利用状況>

	定員数 (人)	総日数 (日)	延べ数 (人)	入居率 (%)
令和7年度	80	29,200	28,112	96.3
令和6年度	80	29,200	28,064	96.1

※総日数 = 365日 (1年間) × 定員数。

<入退居の状況>

(単位:人)

区分	入居	退居	死亡
令和7年度	22	4	18
令和6年度	31	1	29

<入院の状況>

(延べ日数)

	4月 ~6月	7月 ~9月	10月 ~12月	1月 ~3月	計
令和7年度	292	207	273	213	985
令和6年度	213	250	156	293	912

<要介護度の状況>

(令和8年3月31日時点)

要介護度	1	2	3	4	5	計	平均介護度
令和7年度	0	0	6	36	38	80	4.43
令和6年度	0	0	9	30	41	80	4.43

(2) 短期入所生活介護事業

令和7年度の居宅介護料収入は、利用率の向上等により前年度より355千円増の6,229千円となった。

<利用状況>

	定員数 (人)	総日数 (日)	延べ数 (人)	利用率 (%)
令和7年度	2	730	656	89.9
令和6年度	2	730	619	84.8

※総日数 = 365日 (1年間) × 定員数。

<利用者数・要介護度の状況>

(令和8年3月31日時点)

要介護度	1	2	3	4	5	計	平均介護度
令和7年度	0	0	0	7	4	11	4.38
令和6年度	0	0	5	7	5	17	4.14

(3) 入居者へ質の高いサービスの提供

①資機材の整備・更新

- ・入居者及び職員の負担軽減を図るため、スライディングシートの更新や電動ベッドの追加整備などを行った。

②園内行事または各種イベント等

- ・園内行事として秋祭りを7年ぶりに地域住民や入居者の家族を招待して開催するだけでなく、ボランティアレクリエーションの開催や合同ユニット企画として花見や七夕、クリスマス会などを行った。
- ・キッズボーカル「TSUN (つん)」をボランティアとして受け入れ、入居者に歌を楽しんでいただいた。
- ・入居者の情緒の安定を図るため、少人数で対応可能な各ユニット単位での催し(そうめん流しやクレープづくり等)を増強・企画・実施した。

③入居者の健康管理

- ・鹿児島赤十字病院と提携し、週1回の回診を行うことで入居者の健康管理に努めた。
- ・協力歯科医療機関の歯科医師から技術的助言や指導を受け、経管栄養食から経口摂取への移行や入居者の口腔機能を維持管理するための口腔ケアに努めた。

④各種委員会又は会議の開催

- ・「サービス担当者会議」等の各種会議、「感染症等対策委員会」、「介護事故防止検討委員会」及び「身体拘束適正化検討委員会」等の各種委員会を定期的に開催し、職種間の緊密な連携による質の高いサービスの提供に努めた。

⑤各種研修への参加

職員の資質の向上と職業倫理の徹底を図ることを目的として、以下のとおり園内研修を実施または外部研修へ参加した。

- ・外部で開催される各種研修会に年間20回、延べ23名の職員が参加した。
- ・職場内研修は毎月開催し、延べ293名の職員が参加した。
- ・職場内研修を充実させるため「虐待・身体拘束廃止研修会」及び「看取り・医療的ケア研修会」は外部から講師を招いて行った。



(緊急時対応研修会)



(初詣)



(ユニットレクリエーション)



(ボランティアレクリエーション)

(4) 入居者の安全対策・環境整備

- ・防災安全委員会を年4回開催した他、防火避難訓練を実施し、防災対策および防災意識の向上に努めた。
- ・自然災害及び新型コロナウイルス等感染症発生時における業務継続計画（BCP）の見直し及び更新を行うとともに、地震災害時の災害対応机上訓練を実施した。



(防火避難訓練)



(BCP 災害対応机上訓練)

(5) ボランティアの受入れと地域との連携

- ・コロナ禍で受入れができていなかったボランティアについては園内行事や企画等を通じて徐々に受入れを再開し、地域住民との交流を行った。また、「平川まちづくり協議会」に参加し、平川校区文化祭に出展する等、地域との連携や交流拡大に努めた。
- ・谷山南圏域地域ケア分科会議に参加することで、地域における課題とニーズを把握し、改善策等の協議を行うことができた。

(6) 実習生の受入れ

- ・介護福祉士等を目指す学生（大学生、専門学校生）の介護実習等の研修や地域の小中学生の職場体験学習等を受入れ、若年層への福祉の啓発に努めた。

(7) 地域貢献活動について

- ・地域に信頼され開かれた福祉施設を目指して、地域の皆様からの要請に基づき、救急法短期講習や健康生活支援講習短期講習等を行った。



(救急法短期講習)



(平川小学校職場体験)

(8) 広報活動について

- ・ホームページや Instagram を随時更新し、地域や一般市民に対して必要な情報を提供した。
- ・錦江園の広報誌「さざなみ」を定期的に発行し、錦江園の行事や入居者の様子などを幅広く紹介した。

(9) その他

- ・錦江園家族会からティルト&リクライニング車椅子を1台寄贈していただいた。
※ティルト&リクライニング車椅子:背もたれを倒す機能と座面ごとへ傾ける機能を一体化させた車椅子。長時間車椅子で過ごすのが困難な方に使用する。



(参考)

令和7年度における入居者の状況(令和8年3月31日現在)

(ア) 出身市町村別、年齢別の状況

(単位:人)

出身地	年齢 性別	55歳	65歳	70歳	80歳	85歳	90歳	95歳	100歳	計	合計			
		～ 64歳	～ 69歳	～ 79歳	～ 84歳	～ 89歳	～ 94歳	～ 99歳	以上					
鹿児島市	男	0	0	6	3	5	1	1	0	16	66			
	女	1	2	5	9	6	12	11	4	50				
枕崎市	女	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1			
指宿市	女	0	0	0	1	0	3	0	0	4	4			
垂水市	女	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1			
薩摩川内市	女	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1			
いちき串木野市	女	0	0	0	0	1	0	0	1	2	2			
南九州市	女	0	0	1	0	0	1	0	0	2	2			
始良市	女	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1			
十島村	女	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1			
長島町	女	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1			
計	男	0	0	6	3	5	1	1	0	16	80			
	女	1	3	6	11	7	17	14	5	64				
平均年齢		87歳 11月			最高年齢			105歳 0月			最少年齢		57歳 8月	
		男 83歳 3月			男			96歳 0月			男		71歳 10月	
		女 89歳 1月			女			105歳 0月			女		57歳 8月	

(イ) 在園期間

(単位:人)

性別	在園期間	1年未満	2年未満	3年未満	4年未満	5年未満	6年未満	7年未満	8年未満	9年未満	10年未満	11年未満	12年未満	13年未満	14年未満	17年未満	合計
男		6	3	0	3	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	16
女		15	17	8	4	6	2	3	6	0	1	0	0	1	0	1	64
計		21	20	8	7	8	2	3	7	0	1	0	0	2	0	1	80

(ウ) 日常生活能力

(単位：人)

区分	歩 行				食 事			入 浴			着 衣			排 泄					
	自 力 歩 行	杖 等 の 歩 行 補 助 器 使 用	車 い す 使 用	歩 行 介 助	自 分 で 可 能	一 部 介 助	全 面 介 助	自 分 で 可 能	一 部 介 助	全 面 介 助	自 分 で 可 能	一 部 介 助	全 面 介 助	昼 間		夜 間			
														便所	お む つ 使 用	便所	お む つ 使 用		
人 数	2	7	69	2	39	19	22	0	20	60	3	30	47	11	32	37	9	8	63

(エ) 疾病の状況

(単位：人)

病 名	人 員	病 名	人 員
脳 卒 中 後 遺 症	11	糖 尿 病	4
アルツハイマー型認知症	29	精 神 遅 滞	2
脳 血 管 性 認 知 症	7	腎 不 全	2
心 疾 患	6	骨 粗 鬆 症	2
関 節 リ ウ マ チ	12	甲 状 腺 機 能 低 下 症	1
パ ー キ ン ソ ン 病	4		

(オ) 死亡者の死因

(単位：人)

区分 \ 疾病名	老 衰	肺 炎	敗血症	脳出血	尿路感染症	その他	計
施 設	6	2	0	0	1	1	10
病 院	0	2	0	1	0	5	8
計	6	4	0	1	1	6	18

14 決算状況

(1) 令和7年度一般会計歳入歳出決算書

日本赤十字社鹿児島県支部

歳入		歳出								
科目	予算現額 (A)	決算額 (B)	予算現額に比し 増減(B)-(A)	収入率 (B/A)	全体比					
科目	予算現額 (C)	決算額 (D)	不用額 (C-D)	執行率 (D/C)	全体比					
支部収入	407,507,000	404,643,437	△ 2,863,563	99.3	100.0	407,507,000	359,489,700	48,017,300	88.2	100.0
社資収入	204,791,000	190,025,782	△ 14,765,218	92.8	47.0	168,093,000	164,187,544	3,905,456	97.7	45.7
委託金等収入	0	0	0	-	0.0	40,004,000	26,255,279	13,748,721	65.6	7.3
補助金及び交付金 収入	5,777,000	4,197,172	△ 1,579,828	72.7	1.0	791,000	790,600	400	-	0.2
災害義援金預り金 収入	145,376,000	145,375,145	△ 855	100.0	35.9	1,441,000	1,440,600	400	100.0	0.4
繰入金収入	15,291,000	15,290,600	△ 400	100.0	3.8	38,480,000	34,081,450	4,398,550	88.6	9.5
貸付金償還金収 入	0	0	0	-	0.0	48,535,000	36,184,062	12,350,938	74.6	10.0
資産収入	0	0	0	-	0.0	0	0	0	-	0.0
雑収入	7,923,000	7,828,265	△ 94,735	98.8	1.9	7,358,000	7,207,722	150,278	98.0	2.0
前年度繰越金	28,349,000	41,926,473	13,577,473	147.9	10.4	64,026,000	58,916,939	5,109,061	92.0	16.4
						4,694,000	2,355,227	2,338,773	50.2	0.7
						30,285,000	28,070,277	2,214,723	92.7	7.8
						3,800,000	0	3,800,000	0.0	0.0
合計	407,507,000	404,643,437	△ 2,863,563	99.3	100.0	407,507,000	359,489,700	48,017,300	88.2	100.0

歳入歳出差引額 45,153,737 円

(2) 令和7年度医療施設特別会計歳入歳出決算書

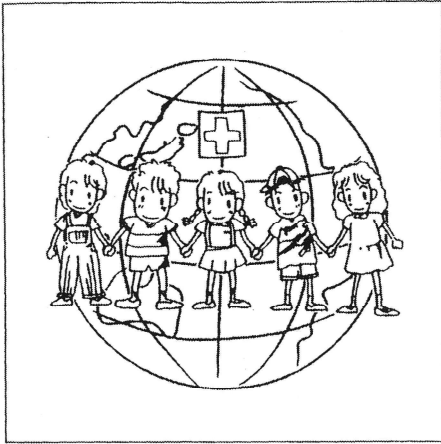
鹿児島赤十字病院

〔収益的收入〕				〔収益の支出〕							
科 目	予算現額 (A)	決算額 (B)	予算現額に比し 増減(B)-(A)	収入率 (B/A)	全体比	科 目	予算現額 (C)	決算額 (D)	不用額 (C-D)	執行率 (D/C)	全体比
	円	円	円	%	%		円	円	円	%	%
1 医業収益	3,796,067,000	3,279,780,224	△ 516,286,776	86.4	96.6	1 医業費用	3,872,343,000	3,551,836,335	320,506,665	91.7	98.8
2 医業外収益	39,745,000	70,534,249	30,789,249	177.5	2.1	2 医業外費用	12,258,000	12,213,677	44,323	99.6	0.3
3 医療社会事業収益	48,411,000	43,717,463	△ 4,693,537	90.3	1.3	3 医療奉仕費用	48,411,000	32,907,133	15,503,867	68.0	0.9
5 特別利益	0	377,870	377,870	0.0	0.0	5 特別損失	500,000	9,737	490,263	1.9	0.0
収益的收入 合計	3,884,223,000	3,394,409,806	△ 489,813,194	87.4	100.0	6 法人税等	467,000	-629,044	1,096,044	-134.7	0.0
						7 予備費	0	0	0	0.0	0.0
						収益の支出 合計	3,933,979,000	3,596,337,838	337,641,162	91.4	100.0

収益の収入支出差引額 △ 201,928,032 円

〔資本的收入〕				〔資本の支出〕				
科 目	予算現額 (A)	決算額 (B)	翌年度繰越額 (C)	予算現額に比し増 減(A)-(B)-(C)	予算現額 (D)	決算額 (E)	翌年度繰越額 (F)	不用額 (D)-(E)-(F)
	円	円	円	%	円	円	円	円
1 固定負債	50,000,000	47,000,000	0	3,000,000	64,380,000	60,896,000	0	3,484,000
3 その他資本収入	124,146,000	123,660,976	0	485,024	109,766,000	109,764,976	0	1,024
資本的收入 合計	174,146,000	170,660,976	0	3,485,024	174,146,000	170,660,976	0	3,485,024

資本の収入支出差引額 0 円



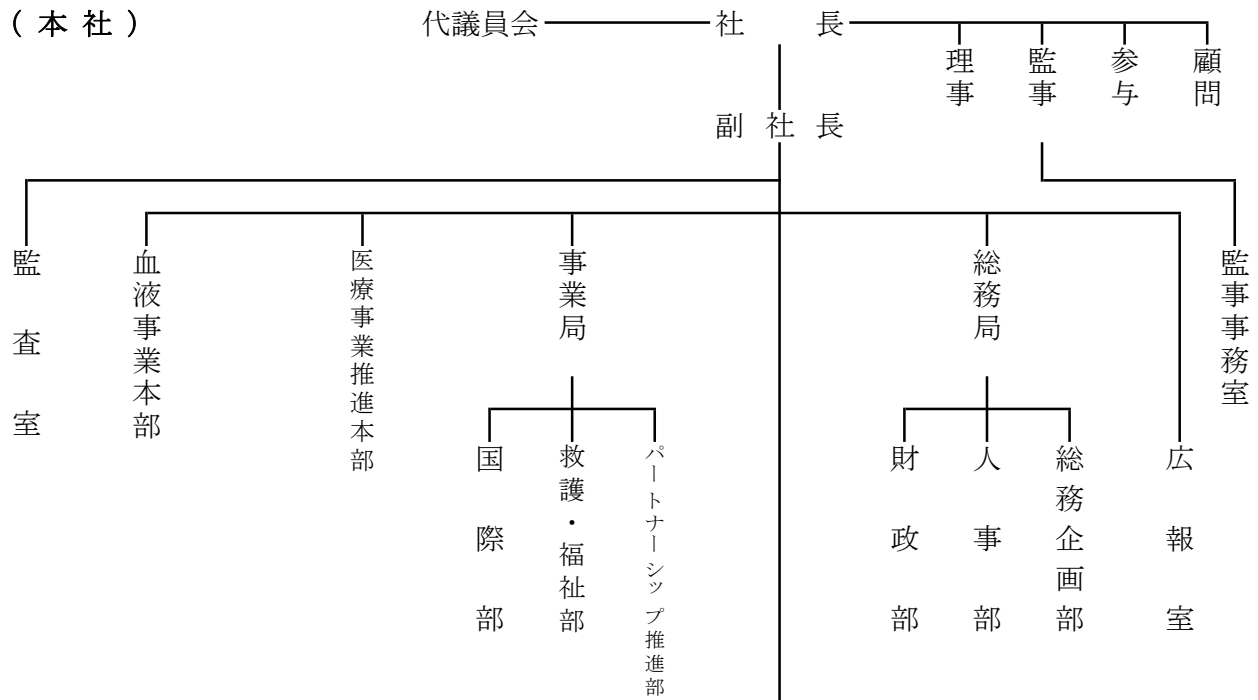
參考資料

本社及び支部組織図等

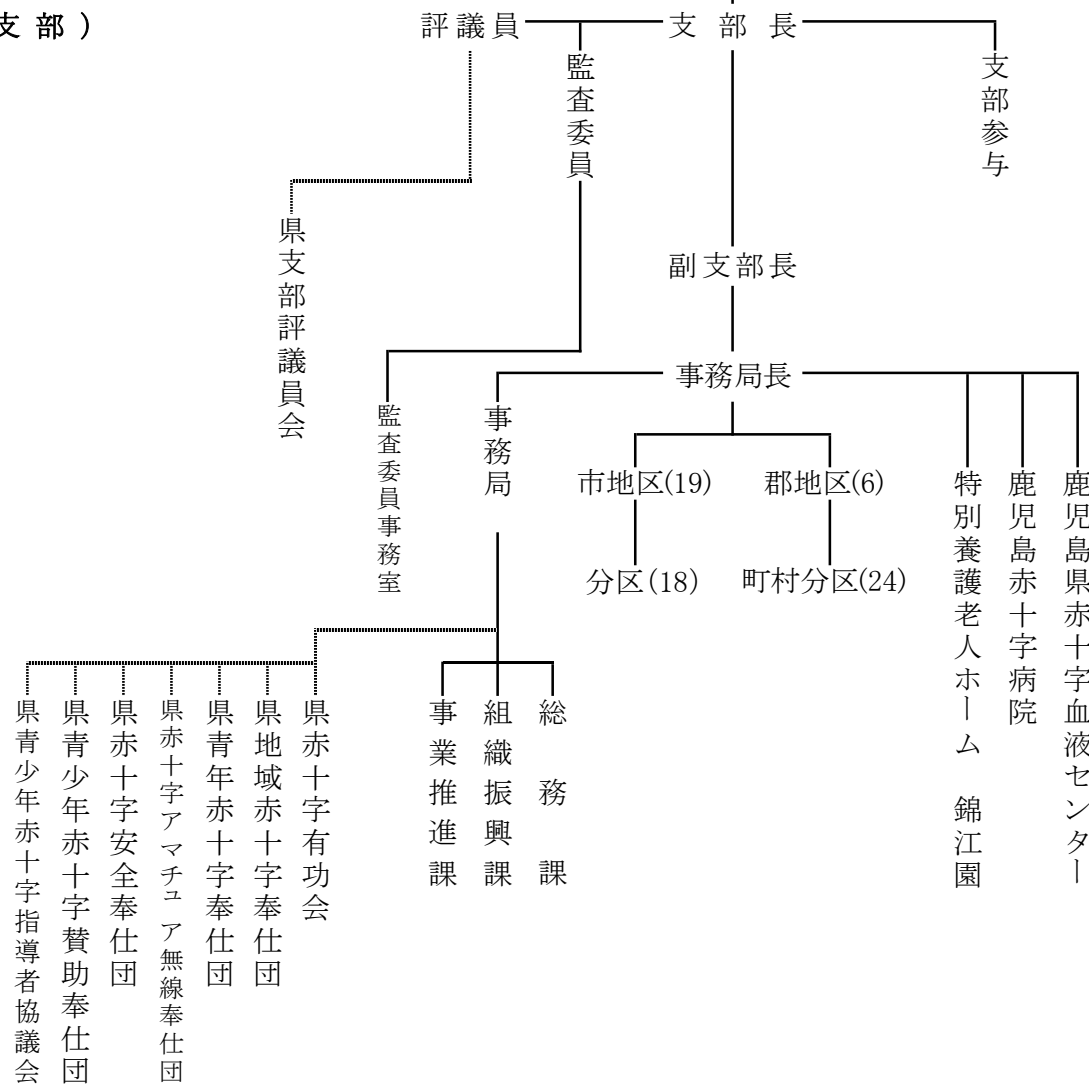
組 織 図

令和8年4月1日 現在

(本 社)



(支 部)



日本赤十字社鹿児島県支部主要役員名簿

主 要 役 員 名

令和8年4月1日現在

役 職 名	氏 名	現 職	任 期
支 部 長	塩 田 康 一	県 知 事	R 5. 7.28～R 8. 7.27
副 支 部 長	寺 田 雅 一	県 副 知 事	R 7. 7. 1～R10. 6.30
〃	伊 地 知 芳 浩	県 保 健 福 祉 部 長	R 7. 4. 1～R10. 3.31
本 社 理 事	森 博 幸	公益財団法人かごしま教育文化振興財団理事長	R 7. 4. 1～R10. 3.31
支 部 選 出 本 社 代 議 員	森 博 幸	公益財団法人かごしま教育文化振興財団理事長	R 7. 2.14～R10. 2.13
〃	本 坊 輝 雄	南 さ つ ま 市 長	〃
〃	高 岡 秀 規	徳 之 島 町 長	〃
〃	川 畑 俊 彦	南生建設(株)名誉会長	〃
〃	大 迫 茂 子	赤十字奉仕団県支部 委員会委員長	〃
支 部 監 査 委 員	大 柳 俊 一	県 町 村 会 参 事 監	R 6. 4. 1～R 9. 3.31
〃	西 井 上 誠	元県社会福祉協議会 常務理事兼事務局長	R 6. 2. 9～R 9. 2. 8

支 部 参 与

氏 名	公 職 名	就任年月日
地 頭 所 恵	県 教 育 長	令和5年4月1日
大 小 田 敦	県保健福祉部 次 長	令和8年4月1日
松 田 典 久	元支部事務局長	令和2年4月1日

評議員名簿

任期(令和7年2月14日～令和10年2月13日)

令和8年4月1日現在

地区名	氏名	職業	地区名等	氏名	職業	
鹿児島市地区	下鶴隆央	鹿児島市長	霧島市地区	中重真一	霧島市長	
〃	椎木明彦	鹿児島市社会事業協会理事長	〃	福永洵	霧島市社会福祉協議会会長	
〃	中間隆志	日赤鹿児島市地区協賛委員会会長	いちき串木野市地区	中屋謙治	いちき串木野市長	
〃	坪内元	日赤鹿児島市地区協賛委員会副会長	南さつま市地区	本坊輝雄	南さつま市長	
〃	三原美智子	日赤鹿児島市地区協賛委員会副会長	志布志市地区	下平晴行	志布志市長	
〃	赤星貴子	鹿児島中央赤十字奉仕団委員長	奄美市地区	安田壮平	奄美市長	
〃	小正芳史	鹿児島総合卸商業団地協同組合理事長	南九州市地区	塗木弘幸	南九州市長	
鹿屋市地区	郷原拓男	鹿屋市長	伊佐市地区	橋本欣也	伊佐市長	
〃	宮下昭廣	鹿屋市社会福祉協議会会長	始良市地区	湯元敏浩	始良市長	
枕崎市地区	前田祝成	枕崎市長	郡地区	鹿児島・始良・北薩	上野俊市	さつま町長
阿久根市地区	西平良将	阿久根市長		大隅	宮原順	東串良町長
出水市地区	椎木伸一	出水市長		熊毛	田淵川寿広	中種子町長
指宿市地区	打越明司	指宿市長		大島	高岡秀規	徳之島町長
西之表市地区	八板俊輔	西之表市長	支部長選出	森博幸	(公財)かごしま教育文化振興財団理事長	
垂水市地区	尾脇雅弥	垂水市長	〃	牧角寛郎	県医師会会長	
薩摩川内市地区	田中良二	薩摩川内市長	〃	鳥丸陽一	県赤十字有功会会長	
〃	上屋和夫	薩摩川内市社会福祉協議会会長	〃	川畑俊彦	南生建設(株)名誉会長	
日置市地区	永山由高	日置市長	〃	木脇良知	(株)南日本新聞社長	
曾於市地区	竹田正博	曾於市長	〃	中野寿康	(株)南日本放送社長	
			〃	大迫茂子	赤十字奉仕団県支部委員会委員長	
			〃	岩下修一	県青少年赤十字指導者協議会会長	

評議員 計 40名

日本赤十字社現勢

日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

日本赤十字スローガン 人間を救うのは、人間だ。

赤十字の基本原則 人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性

1949年のジュネーブ四条約締結国 196カ国 世界の赤十字社・赤新月社等 191社

1. 沿革
 明治10年(1877) 5月 1日 博愛社設立
 明治20年(1887) 5月 20日 日本赤十字社に改称
 昭和27年(1952) 8月 14日 日本赤十字社法制定

2. 名誉総裁・名誉副総裁
 名誉総裁 皇后陛下
 名誉副総裁 秋篠宮皇嗣妃殿下
 常陸宮殿下・同妃華子殿下
 寛仁親王妃信子殿下
 高円宮妃久子殿下

3. 会員
 (令和7年3月31日現在) 個人 19.7万人
 法人 7.6万法人

4. 評議員 2,004人

5. 代議員 223人

6. 役員 (令和7年7月1日現在)
 社長 清家 篤 (常勤)
 副社長 鈴木 俊彦 (常勤) 筒井 義信 (非常勤)
 理事 61人 (常勤5人、非常勤56人)
 監事 3人 (常勤1人、非常勤2人)

7. 青少年赤十字 (令和7年3月31日現在)

幼稚園・保育所等	1,778校	133,361人
小学校	6,956校	1,868,411人
中学校	3,441校	936,117人
高等学校	1,732校	343,608人
特別支援学校	234校	24,560人
その他	163校	39,403人
計	14,304校	3,345,460人
指導者	274,847人	

8. 赤十字ボランティア (令和7年3月31日現在)

地域赤十字奉仕団	2,048団	634,747人
青年赤十字奉仕団	149団	5,108人
特殊赤十字奉仕団	603団	26,853人
個人ボランティア等	-	11,320人
計	2,800団	678,028人

9. 救急法等の講習

	資格登録者数 (令和7年3月31日現在)		受講者数 (令和6年度)
	指導者	救急員等	
救急法基礎講習	10,986人	138,397人	39,373人
救急法	7,001人	61,390人	331,455人
水上安全法	1,488人	4,989人	50,846人
雪上安全法	227人	773人	274人
幼児安全法	2,270人	9,351人	63,679人
健康生活支援講習	1,701人	5,691人	50,397人
計	23,673人	220,591人	536,024人

10. 看護師等の教育

施設数	一学年養成定員	
大学 (大学院併設)	6	看護師 15校 1,115人
短期大学	1	助産師 6校 88人
看護専門学校	9	保健師 6校 174人
助産師学校	1	幹部看護師 1校 120人
幹部看護師研修センター	1	介護福祉士 1校 30人
計	18	

11. 国際活動

国際救援・開発要員派遣 (令和6年度)	14カ国	のべ45人
国際赤十字・赤新月社連盟出向 (令和6年度)	3人 (スイス、マレーシア)	
国際活動費 (令和6年度)		68億6千万円

12. 国内災害救護

救護員数	9,084人 (常備救護班要員を含む)	
常備救護班	490班	6,226人
無線局	(令和7年3月31日現在) 3,089局	
救護車両	2,183台	
赤十字飛行隊 (特殊奉仕団)	78人	
災害における救護員出動数 (令和6年度)	905人	
救援物資配分率 (毛布・安眠セット・緊急セット) (令和6年度)	10,872個	
令和6年度取扱災害義援金額 (令和7年3月31日現在)	321億7,941万5,307円	

13. 医療事業

施設数		
病院	診療所	5
	老人保健施設	4
	介護医療院	5
病床総数	34,083床 (令和7年3月31日現在)	
総患者数 (令和6年度)		
入院	981万人	2.7万人
外来	1,537万人	6.3万人

14. 血液事業

施設数			
地域血液センター	47	ブロック血液センター	7
附属施設 (献血ルーム115を含む)	168	附属施設 (製造所)	4
献血者数 (令和6年度)		供給本数 (令和6年度)	
成分献血	155万人	輸血用製剤	1,737万本
400mL 献血	331万人	車両台数 (令和7年3月31日現在)	
200mL 献血	12万人	献血運搬車	767台
計	499万人	移動採血車	275台

15. 社会福祉事業

児童福祉施設数 (定員)		
乳児院	8 (282)	医療型障害児入所施設 3 (284)
保育所	3 (329)	
児童養護施設	1 (40)	
老人福祉施設数 (定員)		
特別養護老人ホーム (併設ケアハウス20人を含む) 8 (773)		
障害者福祉施設数 (定員)	複合型施設	1 (定員)
障害者支援施設	1 (50)	特別養護老人ホーム (110)
視覚障害者情報提供施設	2	介護老人保健施設 (100)
補装具製作施設	1	高齢者グループホーム (18)
		障害者支援施設 (10)

16. 職員数 (施設数)

職員数	
本社 (1)	562人
支部 (47)	705人
医療事業 (114)	59,881人
血液事業 (226)	5,758人
社会福祉事業 (28)	1,209人
計	68,115人

17. 会計 (令和7年度当初予算)

一般会計	本社	170億8千万円
	支部	187億8千万円
医療施設特別会計		1兆2,509億9千万円
血液事業特別会計		1,683億4千万円
社会福祉施設特別会計		169億8千万円

(特に断りのない統計数字等は、令和7年4月1日現在)

日本赤十字社鹿児島県支部の現勢

令和8年4月1日 現在

1. 沿革

明治10(1877)年 5月 博愛社設立
 明治20(1887)年 5月 日本赤十字社と改称
 明治20(1887)年11月 日本赤十字社鹿児島地方委員会発足
 昭和27(1952)年 8月 日本赤十字社鹿児島県支部と改称

2. 役員

支部長 塩田 康一
 副支部長 寺田 雅一
 伊地知芳浩
 本社常任理事 森 博幸
 本社代議員 5名
 監査委員 2名
 評議員 40名

3. 会員(協力会員等除く)

個人会員 1,233人
 法人会員 956社
 合計 2,189人(社)

4. 青少年赤十字

指導者協議会会長 岩下 修一

加盟校・園

区分	加盟学校(園)	メンバー(人)
幼稚園・保育園	35	1,816
認定こども園	17	1,517
小学校	233	41,323
中学校	95	18,228
高等学校	20	11,453
その他の学校	10	1,104
合計	410	75,441

5. 赤十字奉仕団

区分	委員長	団数(団)	団員数(人)
地域赤十字奉仕団	大迫 茂子	53	10,246
青年赤十字奉仕団	堀段 怜奈	1	12
赤十字アマチュア無線奉仕団	松木 孝生	1	277
赤十字安全奉仕団	岩屋 幹夫	1	145
青少年赤十字賛助奉仕団	出水澤孝洋	1	53
赤十字看護奉仕団	休止中		
計		57	10,733

6. 赤十字有功会

会長 鳥丸 陽一
 会員数 303人(社)

7. 医療事業

施設	病院	1施設
診療科	目	9科
内科・リウマチ科・循環器内科・呼吸器内科 整形外科・脳神経外科・麻酔科・放射線科 リハビリテーション科		
急性期病床		80床
地域包括ケア病床		40床
医師数		16人
医療技師数		38人
看護師数		100人
車両の配置	救急車	1台
	災害救援車	1台

8. 血液事業

施設	血液センター・献血ルーム天文館・ 鹿屋供給出張所・川内供給出張所	
献血者数(人)		
成分献血	200mL献血	400mL献血
15,392	717	42,804
医師数	7人	
医療技師数	3人	
看護師数	33人	
車両の配置	移動採血車	5台
	健診車	4台
	献血運搬車 (出張所を含む)	20台

9. 社会福祉

施設	特別養護老人ホーム	1施設
入所定員数		80人
短期入所生活介護(ショートステイ)		2床
介護職員・看護師		48人

10. 救護・援護事業

常備救護班	8班
常備要員	48人
無線基地局・移動局	78局
災害救援車(地区分区分区配備含む)	71台
エアーテント	3基
フレーム式拡張テント	3張
テント(地区分区分区配備含む)	143張
災害物資保管庫等	70か所
炊出し用釜セット	73か所

11. 職員数

	職員数
鹿児島県支部事務局	14人
鹿児島赤十字病院	238人
鹿児島赤十字血液センター	134人
特別養護老人ホーム錦江園	73人

○ 支 部 の 沿 革

明治 10(1877)年5月	博愛社創立
明治 20(1887)年 11月	日本赤十字社鹿児島地方委員会発足
25(1892)年 9月	日本赤十字社鹿児島県委員部を県庁内に設置
29(1896)年 7月	日本赤十字社鹿児島支部と改称
大正 12(1923)年 12月	鹿児島郡中郡宇村郡元開院中の海濱院買収
昭和 12(1937)年 11月	鹿児島市樋之口町に診療所開設
14(1939)年 5月	谷山町平川2545番地に病院移転、錦江療院と改称
20(1945)年 7月	戦災により支部社屋焼失
20(1945)年 9月	鹿児島市武町日本瓦斯ビル内に支部移転
23(1948)年 5月	鹿児島市郡元町に支部仮庁舎建設、瓦斯ビルより移転
24(1949)年 8月	鹿児島市郡元町支部構内に鹿児島診療所開設
26(1951)年 1月	同構内に支部新庁舎完成
27(1952)年 6月	錦江療院錫山出張診療所開設
27(1952)年 8月	日本赤十字社法制定、日本赤十字社鹿児島県支部と改称
33(1958)年 4月	錦江療院を錦江赤十字病院と改称、鹿児島診療所を病院附属とする。
40(1965)年 1月	鹿児島市下荒田町化学血清療法研究所鹿児島血液銀行内に鹿児島県赤十字血液センターを開設
42(1967)年 1月	支部構内に血液センター新社屋完成移転
43(1968)年 4月	錦江赤十字病院を鹿児島赤十字病院と改称、附属鹿児島診療所を支部郡元診療所と改称
45(1970)年 6月	県立大島病院内に血液センター名瀬出張所を開設、県立鹿屋病院内に血液センター鹿屋出張所を開設
49(1974)年 4月	支部郡元診療所閉鎖
49(1974)年 6月	特別養護老人ホーム錦江園を平川町赤十字病院敷地内に開設(定員50名)
50(1975)年 12月	血液成分製剤の製造開始
52(1977)年 11月	鹿児島市鴨池新町1番5号地に鹿児島県赤十字会館完成 支部事務局、血液センター移転
53(1978)年 3月	鹿児島赤十字病院火の河原出張診療所開設
53(1978)年 5月	鹿児島赤十字病院一般25室95床、結核17室75床に使用許可
55(1980)年 8月	血液センター鹿屋出張所閉鎖
55(1980)年 9月	血液センター名瀬出張所閉鎖
55(1980)年 12月	ベトナム難民援護施設「赤十字垂水園」を垂水市に設置
56(1981)年 4月	鹿児島赤十字病院鹿児島広域市町村圏へき地中核病院に指定
56(1981)年 4月	血液センター献血者全員に検査サービス結果通知開始
56(1981)年 9月	鹿児島赤十字病院一般24室95床、結核15室75床に変更許可
57(1982)年 2月	血液センター供給室及び製剤室増改築完了
57(1982)年 3月	鹿児島赤十字病院一般病棟改築工事落成(鉄筋コンクリート、一部木造811㎡)
57(1982)年 4月	血液センター献血手帳の供給欄削除
57(1982)年 8月	鹿児島赤十字病院一般26室95床、結核15室75床に変更許可
58(1983)年 5月	赤十字看護婦像建立(日本赤十字社看護婦同方会鹿児島県支部)
58(1983)年 7月	鹿児島赤十字病院に新たに理学診療科、放射線科の2科を増設
59(1984)年 3月	血液センター車庫及び倉庫増築完了
60(1985)年 3月	錦江園研修宿泊施設及び15床、増築工事完成(定員70名に変更)
60(1985)年 8月	鹿児島赤十字病院一般29室120床、結核10室50床に変更許可

61(1986)年	2月	血液センター天文館出張所「献血ルーム・天文館」開設
61(1986)年	4月	血液センター400mL献血及び成分献血開始
61(1986)年	9月	血液センター採血室、検査室増築工事完成
62(1987)年	4月	特別養護老人ホーム錦江園短期入所生活介護(定員1床設置)
平成元(1989)年	2月	鹿児島赤十字病院リウマチ検診車購入
元(1989)年	3月	ベトナム難民救護施設「赤十字垂水園」を閉鎖
元(1989)年	6月	血液センター業務をシステム化
2(1990)年	7月	鹿児島赤十字病院に新たに整形外科を増設
2(1990)年	11月	鹿児島赤十字病院増改築工事完成
3(1991)年	4月	血液センター血液凝固因子製剤製造用原料血漿の送付開始
4(1992)年	10月	鹿児島赤十字病院骨粗しょう検診車購入
4(1992)年	10月	鹿児島県支部創設百周年記念大会開催
5(1993)年	3月	『日赤鹿児島百年史』刊行
5(1993)年	8月	8・6豪雨災害で救護班8個班を派遣
6(1994)年	4月	鹿児島県支部事務局組織改正
7(1995)年	1月	阪神・淡路大震災で救護班2個班、赤十字防災ボランティア等を派遣(発災から同年3月までの間)
8(1996)年	5月	鹿児島赤十字病院エイズ治療協力病院指定
8(1996)年	10月	鹿児島赤十字病院に新たにリウマチ科増設、理学診療科をリハビリテーション科に変更
9(1997)年	3月	鹿児島赤十字病院、災害拠点病院(地域災害医療センター)指定
10(1998)年	2月	血液センター増改築工事(放射線照射室 他)
10(1998)年	6月	鹿児島赤十字病院検診棟完成
11(1999)年	5月	鹿児島赤十字病院に鹿児島県へき地遠隔医療システム導入
11(1999)年	7月	鹿児島県赤十字会館増改築工事着工
12(2000)年	3月	鹿児島赤十字病院、居宅介護支援事業所指定
12(2000)年	4月	特別養護老人ホーム錦江園介護老人福祉施設および居宅サービス(短期入所生活介護)事業所指定(事業所番号4670101114)
12(2000)年	8月	鹿児島県赤十字会館増改築工事竣工
12(2000)年	10月	鹿児島県悪石島地震災害へ救護班1個班を派遣
14(2002)年	6月	特別養護老人ホーム錦江園短期入所生活介護(定員1床増床)
14(2002)年	7月	赤十字病院「へき地医療拠点病院」指定(へき地中核病院の再編成)
15(2003)年	1月	鹿児島赤十字病院増改築工事(リハビリ棟 他)
15(2003)年	7月	鹿児島赤十字病院に新たに脳神経外科を増設、休止中の外科を廃止
15(2003)年	11月	鹿児島赤十字病院「保健文化賞」受賞(リウマチ膠原病・骨粗しょう症検診及び離島へき地診療による地域医療の貢献)
16(2004)年	3月	血液センターに新鮮凍結血漿の貯留保管のため供給課にプレハブフリーザー室を増設
16(2004)年	4月	鹿児島赤十字病院に新たに麻酔科を増設
〃		鹿児島赤十字病院、結核病棟(休床)
16(2004)年	7月	鹿児島赤十字病院「地域医療連携室」設置
16(2004)年	11月	新潟県中越地震災害へ救護班1個班、こころのケア要員2名を派遣
17(2005)年	3月	鹿児島赤十字病院「救急病院」認定
17(2005)年	4月	鹿児島赤十字病院「特定診療科(眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科)巡回診療」県から移管

17(2005)年 9月	台風14号災害で垂水市へ救護班2個班、防災ボランティア等を派遣
18(2006)年 3月	血液センター改修工事(1階採血施設に献血者問診室を設置)
18(2006)年 4月	鹿児島商船高速船事故へ救護班1個班を派遣
18(2006)年 7月	鹿児島県北部豪雨災害へ救護班1個班を派遣
〃	血液センター 「献血ルーム天文館」全面改修リニューアルオープン
18(2006)年 10月	血液センター 「献血者健康被害救済制度」開始
〃	血液センター 献血手帳を磁気型「献血カード」に変更
18(2006)年 11月	鹿児島赤十字病院 MRI室増築 稼働開始
19(2007)年 1月	血液センター 全ての血液製剤について保存前白血球除去開始 (一部製剤は先行実施)
19(2007)年 2月	血液センター 採血時初流血液除去を開始
19(2007)年 3月	鹿児島赤十字病院 医療安全推進室を設置
19(2007)年 4月	鹿児島赤十字病院 言語聴覚療法を開始
19(2007)年 11月	鹿児島赤十字病院 放射線撮影室増築工事、中央病棟増築工事完成 一般撮影装置増設、DEXA装置更新
〃	血液センター 九州ブロックにおける検査・製剤集約施設として「日本赤十字社九州血液センター」竣工
20(2008)年 1月	血液センター 検査業務を九州血液センターに集約
20(2008)年 3月	鹿児島赤十字病院 一般病棟入院基本料「7対1入院基本料」承認
〃	血液センター 医薬品製造業を廃止し、製剤業務を九州血液センターに集約(製剤業務の集約4/1付)
20(2008)年 4月	血液センター かもいけの血液センターを改修に併せ「献血プラザかもいけクロス」と名称変更し、リニューアルオープン 特別養護老人ホーム錦江園 介護老人福祉施設および居宅サービス(短期入所生活介護)事業所指定更新
20(2008)年 6月	鹿児島赤十字病院 病院機能評価認定病院(審査体制区分2:ver.5)認定
21(2009)年 3月	血液センター 生化学検査サービス項目のAST(GOT)検査に変え、GA(グリコアルブミン:糖尿病関連)検査導入
21(2009)年 3月	鹿児島赤十字病院 国道拡幅工事に伴う改修工事(リハビリ棟・重油タンク)
21(2009)年 4月	鹿児島赤十字病院 鹿児島県から災害派遣医療チーム(DMAT)指定病院として指定 血液センター 献血プラザかもいけクロス採血室の漏電による火災のため一時閉所
21(2009)年 7月	血液センター 献血プラザかもいけクロスリニューアルオープン
21(2009)年 10月	鹿児島赤十字病院 消防・防災ヘリコプター医師搭乗システム協力病院
22(2010)年 3月	鹿児島赤十字病院 鹿児島県から看護学生研修実習生控室(建物)の無償譲渡 鹿児島赤十字病院 錫山・火の河原出張診療所廃止
22(2010)年 7月	鹿児島赤十字病院 DPC対象病院として稼働開始
22(2010)年 10月	奄美大島豪雨災害へ救護班2個班を派遣
22(2010)年 11月	血液センター 「ホリスティックヘルスプラザかごしま」オープン
22(2010)年 12月	鹿児島赤十字病院 電子カルテ・オーダーリングシステムの導入・稼働開始
23(2011)年 3月	東日本大震災で救護班5個班、こころのケア要員、病院・施設支援要員、ボランティア等を派遣(発災から同年8月までの間)

23(2011)年 8月	血液センター 鹿屋地区血液備蓄所(鹿屋富田薬品)及び曾於地区血液備蓄所(曾於郡医師会立病院)閉鎖
23(2011)年 9月	血液センター 鹿屋出張所開設
23(2011)年 11月	血液センター 川内地区血液備蓄所(アステム川内支店)閉鎖
23(2011)年 12月	血液センター 川内出張所開設
24(2012)年 3月	鹿児島赤十字病院 平成16年4月より休棟中の結核病床廃止(一般病床120床となる)
24(2012)年 4月	血液事業の広域運営体制開始 広域事業運営体制による血液センター組織改正
24(2012)年 8月	日本赤十字社鹿児島県支部120周年記念絵画・作文コンクール実施
24(2012)年 12月	日本赤十字社鹿児島県支部120周年記念改築工事(災害対策本部機能等改修工事)
25(2013)年 1月	「～献血ありがとう～いのちをつなぐ友の会」発足
〃	立体駐車場(3階4層:公用車含142台収容)完成
26(2014)年 1月	鹿児島城山ライオンズクラブから献血運搬車の寄贈を受ける
〃	特別養護老人ホーム錦江園 改築工事竣工(鉄筋コンクリート5階建て全ユニット型)
26(2014)年 2月	宮崎県串間市への血液供給を開始(県境を越えた供給)
26(2014)年 3月	鹿児島赤十字病院 新東棟竣工
26(2014)年 5月	血液事業情報システム供給部門導入
〃	血液事業情報システム本稼働
26(2014)年 6月	鹿児島・串木野・奄美の各海上保安部と「海上災害等における相互協力に関する協定」を50年振りに再締結
26(2014)年 11月	鹿児島赤十字病院 本館改修工事竣工
27(2015)年 1月	鹿児島赤十字病院 増改築工事落成祝賀会並びに設立90周年記念祝賀会举行
27(2015)年 2月	鹿児島県赤十字血液センター創立50周年記念式典举行
27(2015)年 3月	一般社団法人 日本血液製剤機構(JBPO)と日本赤十字社間の血漿分画製剤の販売提携終了
27(2015)年 5月	屋久島町口永良部島新岳噴火災害で救護班1個班、こころのケア要員等を派遣
27(2015)年 8月	鹿児島赤十字病院 永井慎昌医師「第67回保健文化賞」受賞
〃	米盛庄司代議員より、支部事務局へ机、イス寄贈
27(2015)年 12月	医療機関での赤血球製剤抗原検索システム開始
28(2016)年 2月	「献血ルーム天文館」開設30周年記念キャンペーン開催
28(2016)年 4月	血液事業本部 生化学検査のALT基準値変更と抗原陰性血の確認検査廃止
〃	熊本地震災害で医療救護班4個班、災害対策本部支援要員等を派遣 (発災から同年6月までの間)
28(2016)年 7月	鹿児島県赤十字血液センターの固定施設の定休日を変更 (献血プラザかもいけクロス:木曜定休、献血ルーム天文館:金曜定休)
28(2016)年 9月	血液事業本部 照射洗浄血小板-LR「日赤」販売開始
29(2017)年 3月	鹿児島城西ロータリークラブ及び鹿児島サザンウインドロータリークラブから血液センターへ献血運搬車の寄贈
〃	鹿児島県赤十字血液センターの加世田地区血液備蓄所(富田薬品南薩営業所)、大口地区血液備蓄所(山口長生堂薬局)及び出水地区血液備蓄所(出水総合医療センター)閉鎖
29(2017)年 4月	特別養護老人ホーム錦江園 10床増床(定員80名に変更)
29(2017)年 7月	日本赤十字社鹿児島県支部125周年記念改築工事(救援物資保管倉庫改修)
29(2017)年 9月	日本赤十字社創立140周年・日本赤十字社鹿児島県支部創立125周年記念表彰式及び講演会を開催
〃	日本赤十字社鹿児島県支部125周年記念赤十字ふれ愛親子防災教室を開催
〃	国分地区血液備蓄所(アトル国分支店)閉鎖
29(2017)年 12月	指宿地区血液備蓄所(国立病院機構指宿医療センター)閉鎖

30(2018)年 3月	阿久根地区血液備蓄所(出水郡医師会立阿久根市民病院)、大島地区血液備蓄所(九州東邦大島営業所)閉鎖
30(2018)年 7月	平成30年7月豪雨災害で岡山県へ支部災害対策本部支援要員を派遣
31(2019)年 3月	種子島地区血液備蓄所(種子島医療センター)閉鎖
31(2019)年 4月	鹿児島城山ライオンズクラブ及び鹿児島明倫ライオンズクラブから血液センターへ献血運搬車の寄贈
令和 元(2019)年 8月	令和元年8月豪雨災害で佐賀県へ救護班1個班を派遣
2(2020)年 7月	鹿児島赤十字病院 県の要請を受け新型コロナウイルス感染者の入院受入を開始
〃	令和2年7月豪雨災害で熊本県へ支部職員1名を派遣
2(2020)年 8月	新型コロナウイルス感染症対応で鹿児島県広域医療調整本部及び宿泊療養施設等へ職員を派遣
3(2021)年 3月	沖電気工業株式会社から血液センターへ献血運搬車の寄贈
3(2021)年 10月	鹿児島県医師会、鹿児島県歯科医師会、鹿児島県薬剤師会、鹿児島県看護協会から血液センターへ献血推進車の寄贈
〃	鹿児島南洲ライオンズクラブ及び鹿児島ライオンズクラブから血液センターへ献血輸送車の寄贈
3(2021)年 12月	震度5強の地震を観測した悪石島へ鹿児島赤十字病院看護師及び支部事務局職員計2名を派遣
4(2022)年 7月	桜島の噴火警戒レベルが5に引き上げられたことに伴い、支部災害対策本部要員が県赤十字会館に参集するとともに、県庁に連絡調整員を1名派遣
4(2022)年 9月	アプリ版献血カード及び事前WEB問診回答の運用開始
〃	日本赤十字社鹿児島県支部創立130周年事業 ～災害の記憶展～ を実施
5(2023)年 1月	青少年赤十字創設100周年・県支部創立130周年記念作文・絵画コンクールを実施
5(2023)年 3月	3月13日採血分(3月15日製造分)から赤血球製剤の有効期限が21日から28日に延長
5(2023)年 5月	献血プラザかもいけクロス・献血ルーム天文館での全献血協力者への体重測定開始
5(2023)年 9月	献血バスでの全献血協力者への体重測定開始
5(2023)年 12月	鹿児島赤十字病院 創立100周年
〃	鹿児島赤十字病院 120床全床急性期病床から、急性期80床、地域包括ケア病床40床へ病床機能を変更許可
6(2024)年 1月	鹿児島城山ライオンズクラブ及び鹿児島明倫ライオンズクラブから血液センターへ献血運搬車の寄贈
6(2024)年 2月	献血同意書に血漿分画製剤の海外輸出に関する項目が追加
〃	「献血ルーム・天文館」リニューアル・オープン(同年2月8日から一時閉鎖)
6(2024)年 1月	令和6年能登半島地震で救護班2個班及び災害医療コーディネーターチーム1チームを派遣(発災から同年2月までの間)
6(2024)年 2月	令和6年能登半島地震で鹿児島赤十字病院からDMAT隊員4名を派遣
6(2024)年 6月	特別養護老人ホーム錦江園 創立50周年
7(2025)年 3月	公益財団法人JKAから献血運搬車の寄贈
7(2025)年 7月	鹿児島県赤十字血液センターの固定施設の定休日を変更 (献血プラザかもいけクロス:水曜定休、献血ルーム天文館:火曜定休)
〃	震度6弱の地震を観測した悪石島へ鹿児島赤十字病院看護師1名を派遣 (7月5日～8日の間)
〃	細菌スクリーニング導入血小板製剤の販売開始。血小板製剤の有効期間が4日から6日へ延長
7(2025)年 9月	第三次救急医療機関である県立大島病院を対象に、緊急時対応を目的としたATR(血液搬送装置)運用を開始
8(2026)年 1月	献血カード・献血手帳の新規発行及び更新を終了し、献血Webサービス「ラブラッド」へ献血記録等の機能を集約

赤十字標語一覧

- 1973年(昭48) あなたとあなたの世界に赤十字
- 1974年(昭49) いのちを守る赤十字！(救急法, 水上安全法, 家庭看護法の普及)
- 1975年(昭50) 赤十字: 危急のときのいのち綱
- 1976年(昭51) 行動する赤十字
- 1977年(昭52) 人の和を世界に広げる赤十字
- 1978年(昭53) 参加しよう赤十字
- 1979年(昭54) 愛に手で世界を結ぶ赤十字
- 1980年(昭55) 赤十字: みんなのためにどこにでも
- 1981年(昭56) あなたとともに赤十字
- 1982年(昭57) あなたの身近に赤十字
- 1983年(昭58) とっさの手当がいのちを守る！覚えよう救急法
- 1984年(昭59) 人道を通じて平和へ
- 1985年(昭60) あなたの若さを一赤十字
- 1986年(昭61) いのちを救う愛の献血一赤十字
- 1987年(昭62) 幼い生命に愛の手を一赤十字
- 1988年(昭63) 伝統を明日への力に一赤十字
- 1989年(平元) 愛の手を世界に広げる赤十字
- 1990年(平2) 守ろう！人のいのちと尊さを
- 1991年(平3) 救おう！災禍にあえぐ人々を
- 1992年(平4) 災害に備えて守る尊い生命一赤十字
- 1993年(平5) すべての人々に人間の尊厳を
}
- 2000年(平12) 全ての人々に人間の尊厳を
- 2001年(平13) 人道は限りない力
}
- 2004年(平16) 守ろう人間の尊さを
}
- 2008年(平20) 人間を救うのは、人間だ。Together for humanity
}
- 2012年(平24) 人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.
}